

福井県立図書館・福井県ふるさと文学館

年 報

令和 3 年度

（令和 2 年度事業実績）

福井県立図書館・福井県ふるさと文学館

福井県立図書館

目 次

I	令和3年度事業概要	
1	運営基本方針	1
2	組織・事務分掌・職員構成	4
3	当初予算	5
II	令和2年度事業概要	
1	主な取組	6
2	刊行物	9
3	運営費状況（決算）	9
III	図書館概要	
1	一般利用者向けサービス	10
2	閲覧室概要	11
3	団体への支援、連携	12
4	その他	13
IV	行事实施状況	
1	会議	14
2	研修	14
3	イベント	16
4	企画展示・本の特集	19
V	統計	
1	図書資料の整備概況	24
	(1) 図書 (2) 新聞・雑誌 (3) CD-ROM・DVD-ROM	
	(4) マイクロフィルム (5) 視聴覚資料	
2	サービス業務の概要	28
	(1) 利用者サービス (2) 市町立図書館等サービス (3) 読書普及活動	
	(4) 職場体験・視察等 (5) ボランティア (6) フレンドリーバス	
3	他都道府県立図書館との比較（令和元年度実績）	32
VI	特別文庫資料	
1	資料名	34
2	利用状況	34
VII	資料編	
1	施設	35
2	開館時間と休館日	39
3	管内人口と面積	39
4	沿革	40
5	関係団体	45
	(1) 福井県立図書館運営懇話会 (2) 福井県図書館協会	
	(3) 福井県読書会連絡協議会 (4) 福井県郷土誌懇談会	
6	生活学習事業（若狭図書学習センター）	48
	(1) 福井ライフ・アカデミー事業 (2) 学習グループの作品展・活動発表	

I 令和3年度事業概要

1 令和3年度運営基本方針

県立図書館においては、福井県教育振興基本計画（令和2～6年度）および第3次福井県子どもの読書活動推進計画等を踏まえ、県民ニーズに迅速かつ的確に対応し、県民の仕事や生活、また地域の課題解決を支援する「地域と県民の役に立つ図書館」となるために以下の活動を進めます。

（1）情報の提供

県民の情報拠点として、資料の収集・保存およびインターネットによる情報提供などを進めます。

① 資料収集

- ・資料収集方針を見直すとともに、ビジネスや医療・健康に関する資料などの収集に努め、地域や県民の課題解決を支援します。
- ・福井県に関する資料および県内出版物を網羅的に収集し、ふるさと情報の拠点としての役割を強化します。

② レファレンスの充実

- ・福井県に関する情報のテーマ別の調べ方や、仕事や生活など身近な課題の解決に役立つ情報の調べ方案内を作成し、レファレンスサービスを充実します。
- ・文献・情報の探し方講座や図書館サービスの使い方講座などを開催し、県民の情報リテラシーの向上を支援します。
- ・ビジネスに役立つオンラインデータベースの提供とともに、ニーズの高い新規コンテンツの導入を検討します。

③ 資料デジタル化の推進

- ・県立図書館だけが所蔵する福井県に関する資料のデジタル化と情報発信を進めます。

（2）他機関との連携

県内外の公共図書館や専門機関との連携を強化し、図書館サービスの充実を図ります。

① 図書館ネットワークの強化、拡大

- ・資料提供やレファレンス協力、業務相談、情報提供など、県内市町立図書館の活動を支援します。
- ・国立国会図書館や都道府県図書館、県内大学図書館、視覚障害者情報総合ネットワーク会員施設とも連携を図りながら、幅広い資料の提供を行います。
- ・県下で残すべき資料を県立図書館で保存するリポジトリ機能について検討します。

② 専門機関との連携企画の実施

- ・ふくい産業支援センター、県看護協会、法テラス福井などと連携し、ビジネス、医療健康、法律等に関する相談会や本の特集展示を行います。
- ・県や市町などの行政機関、文化施設と連携し、地域の課題解決に役立つ資料の特集展示を行います。

③ 図書館司書、ボランティア等の育成

- ・県内図書館の司書、読書ボランティア等を対象とした各種研修の実施などを通し、関係する人材のスキルアップを図ります。

(3) 生涯学習活動の支援

人生百年時代を迎え、県民一人一人が充実した生活を送ることができるよう、学びと交流を支援します。

① 文書館、ふるさと文学館との連携

- ・統一テーマのもとに図書館、文書館、ふるさと文学館がそれぞれの特徴を生かしながら協力し、より魅力的な展示やイベント等を実施します。
- ・図書館、文書館、ふるさと文学館の機能、設備等を活用したイベントを実施します。

② 子どもの読書活動の推進

- ・図書館での仕事体験などを通して、周りの子どもたちに読書の楽しさなどを伝えるジュニア司書の養成に取り組みます。
- ・本との新たな出会いづくりとして、推奨図書コーナーの充実や新しい生活様式に配慮した読み聞かせ等の活動を行います。
- ・ふるさとへの誇り、愛着心を育むため、県立学校等において郷土資料の調べ方講座を行います。

③ 県民の生涯学習支援

- ・図書館ボランティア活動など、県民が生き生きと学び活動できる機会を提供します。
- ・新型コロナ対策に配慮しつつ、イベント整備や各種活動の発表などの場として庭園も含めた施設の活用を進めます。
- ・「白川文字学の室」を中心に白川文字学に関するテーマ展示やワークショップを行い、幅広い世代が白川文字学について学ぶ場を提供します。
- ・図書館、文書館、ふるさと文学館が行うイベントやサービスについて、SNSの活用などにより効果的な情報提供に努めます。

項目	現場	挑戦	協働	創意工夫	効率化
1 情報の提供	○適切な資料の収集 ○オンラインデータベースの提供 ○情報リテラシー向上の支援	○郷土資料のデジタル化 ○レファレンスサービスの積極的な発信	○他図書館への資料提供	○時代のニーズに適合した、県立図書館に相応しい蔵書構成を実現 ○本の特集、展示の魅力度アップ	○レファレンスツールの作成 ○効率的な資料保存環境の整備
	●受入資料数 22,000点 ●オンラインデータベース提供 6種 ●資料・情報の調べ方講座の開催 2回	●郷土資料デジタル化計画の立案と実施 ●覚え違いタイトル集などレファレンスサービスの広報	●県内市町図書館への相互貸借冊数 10,000冊	●長期ビジョン、教育振興計画等を踏まえ、「資料収集方針」を見直し ●Display Boxesを活用した本の特集の実施	●テーマ別調べ方案内等の作成、改訂 8点 ●集密書庫の書架配置、収蔵計画の立案
2 他機関との連携	○市町図書館との意見交換 ○他図書館等とのレファレンス協力	○県下で残すべき資料の県立図書館での受入(リポジトリ機能)	○インターネット予約による市町図書館での資料受取 ○市町図書館との共同企画の開催	○ビジネス支援(事業創継)、医療健康など他機関と連携した共同企画の開催	○県内図書館司書のスキルアップ ○他の図書館との資料物流体制の維持
	●市町図書館への訪問 35館 ●レファレンス協同データベース登録件数 50件	●リポジトリ機能の方向性を検討	●インターネット予約他館受取予約冊数 6,000冊 ●市町図書館との共同企画 1回	●他機関と連携した本の特集 35回 ●他機関と連携したイベント 15回	●職員研修の開催 10回 ●オンラインを活用した研修の実施 ●効率的な物流体制の検討
3 生涯学習活動の支援	○「白川文字学」を学ぶ機会の提供 ○図書館施設の新型コロナ感染予防対策	○子どもの読書活動の推進 ○新しい生活様式に配慮した子ども読書活動の推進	○文書館、ふるさと文学館と連携した魅力ある企画の実施 ○ボランティア活動の受入	○ホームページ、SNSにより図書館サービスやイベント等の情報発信を強化 ○施設(庭園等)の有効活用	○イベント参加申込の効率化
	●白川文字学に関する展示・イベント 6回 ●手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保等	●ジュニア司書の養成 10名 ●県立学校での郷土資料調べ方講座の開催 2回 ●推奨図書コーナーの充実 ●子ども室の環境整備や読み聞かせ等の実施 ●電子書籍導入の検討	●3館連携企画 3回 ●図書館ボランティア活動延べ回数 1,000回	●ホームページ閲覧数 24,000回/月 ●SNSやメディアによる効果的な広報 ●庭園散策マップの作成や庭園を活用した読書イベント等の実施	●メールでの申込受付の促進

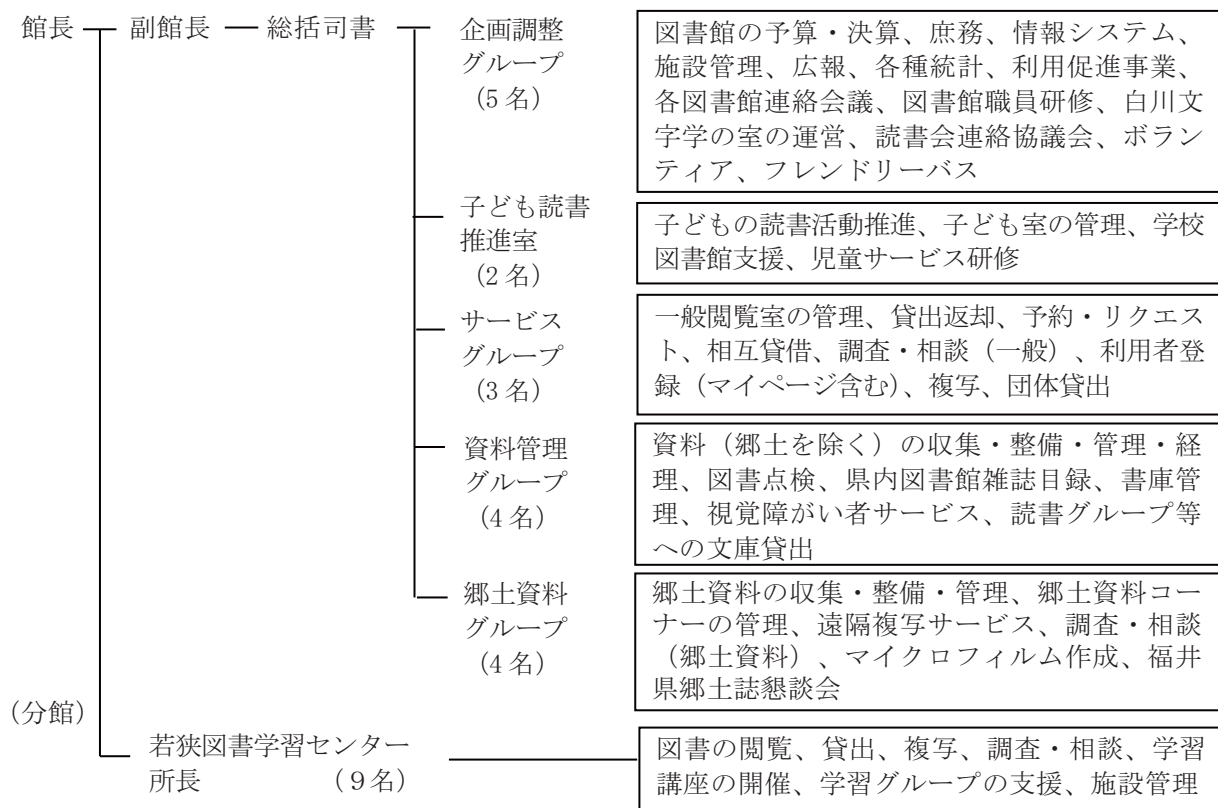
※上段は取組項目、下段は目標 ゴシック体は令和3年度の新規項目

※本案は令和3年4月当初のものであり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ここに示された業務・行事等がやむを得ず延期や中止になることがあります。

2 組織・事務分掌・職員構成

(本館)

(令和3年4月1日現在)



	館長	副館長	所長	総括司書	室長	主任	企画主査	主査	主事	司書	計	うち司書
館長	1										1	
副館長		1									1	
総括司書				1							1	1
企画調整G						4			1		5	1
子ども読書推進室					1	1					2	2
サービスG						2				1	3	3
資料管理G						3		1			4	4
郷土資料G						3		1			4	4
若狭図書学習センター			1			5	1			2	9	5
計	1	1	1	1	1	18	1	2	1	3	30	20

※郷土資料G主任のうち1名は文書館兼務

3 令和3年度当初予算

(1) 福井県立図書館

費 目	金 額 (千円)	事 業 概 要
図 書 館 資 料 整 備 費	36,387	図書購入、雑誌購入、新聞購入、その他資料購入
郷 土 資 料 調 査 整 備 費	649	県報、新聞等マイクロフィルム作成
図 書 館 活 動 推 進 費	690	公共図書館職員研修
県立図書館運営懇話会開催事業	99	運営懇話会開催
フレンドリーバス運行事業	17,487	フレンドリーバス運行事業
県立図書館サービス向上事業	3,566	ビジネス支援、子ども室整備、遠隔地利用者サービス、大学図書館連携
子どもの読書活動推進事業	1,464	推奨図書購入、ライブラリーステイ
図 書 館 管 理 費	158,425	庁舎維持管理
図 書 館 情 報 シ ス テ ム 費	21,139	電算管理運営
計	239,906	

(2) 若狭図書学習センター

費 目	金 額 (千円)	事 業 概 要
若 狭 図 書 学 習 セ ン タ ー 資 料 調 査 整 備 費	8,295	図書購入、雑誌購入、新聞購入、その他資料購入
若狭図書学習センター管理費	28,589	庁舎維持管理
計	36,884	

Ⅱ 令和 2 年度事業概要

1 令和 2 年度の主な取組

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒やマスク着用の徹底、ソーシャルディスタンスの確保等を利用者に呼びかけ、定期的な換気などの対策を行った。県の通達により 4 月 4 日～19 日を臨時休館し、その後、県緊急事態宣言の発出により休館を 5 月 10 日まで延長した。再開後は、閲覧席や検索端末の利用制限、子どもや高齢者を対象にしたイベントの中止等の対策を取り、状況を見ながら席数を徐々に元に戻すなどしている。貸出冊数および期間についても、感染状況を見ながら 10 冊を 15 冊、2 週間を 3 週間に拡大した。多目的ホール等の施設利用については、ソーシャルディスタンスを確保するため、県の指針に沿った収容人数とした。

(2) 子どもの読書活動推進

県立図書館および若狭図書学習センターにて小学生を対象とした「ジュニア司書養成講座」を開催した。また、県教育委員会生涯学習・文化財課が作成した推奨図書リストに掲載された児童書を揃え、「推奨図書コーナー」を新設し、読書環境の充実を図った。

(3) 県立図書館開館 70 周年記念企画の実施

福井県立図書館が昭和 25 年 4 月に開館してから 70 周年を迎えたことを記念して、展示「福井県立図書館のあゆみ」、小中学生が図書館に宿泊して災害等について学ぶ「ライブラリーステイ」、利用者におすすめ本の書評を募集し掲示する「わたしの書評」等を実施した。

(4) 読書バリアフリーサービスの実施

視覚障がい者等の読書環境の整備を図るため、一般閲覧室内に「読書バリアフリーコーナー」を新設し、LL ブック、点字付き絵本、マルチメディアデイジー等を配架した。

(5) 白川静博士生誕 110 年記念展示の実施

令和 2 年が白川静博士の生誕 110 年であることを記念し、その生い立ちや業績について年間を通して展示を行った。また、新たに関連機関と連携し、学習会「古代文字を学ぼう」の定例開催を開始した。

図書館等の新型コロナウイルス感染症対策の経過と対応（令和2年度）

福井県新型コロナウイルス感染症対策本部会議における決定事項－「今後の福井県の対応」・「県民行動指針」－および利用者の状況などに基づき対応

対 応 / 時 期	R2 5/11 再開～6/1 ※4/4～5/10臨時休館 4/14緊急事態宣言	STEP1 (6/2～6/18)	STEP2 (6/19～7/9)	STEP3 (7/10～7/31) 7/3～8/26 注意報	STEP4 (8/1～) 8/27～9/24 警報	11/13～注意報 12/18～年末年始徹底期間 R3.1/9～2/28 警報、3/30～注意報
▶開館時間の短縮	・開館時間短縮 9時から17時	・開館時間延長 平日 18 時	・平日 19 時、土日 18 時	・継続	・継続	・継続
▶入館記録	・利用カードの就取りまたは連絡先記入票の提出(職員配置)	・継続(県民行動指針と連動) ※保存期間 1 年	・継続	・継続(連絡先記入票のポスト提出のみに変更)	・継続	・継続
▶フレンドリーバス	・5/23～ 増便(1 日 4 便) 最終 17:27 図書館発	・継続 6/11～ 増便(1 日 6 便) ※開館時間に応じ変更(最終18:38)	・継続 増便(1 日 8 便) (6/19～ 平日最終19:23)	・継続	・8/25～ 【休館前ダイヤ回復】	・継続
▶利用時間の制限	・1時間以内	・継続	・長時間の利用自粛要請	・継続	・継続	・継続
▶エントランス休憩椅子利用制限	・全ての椅子撤去	・一部椅子利用開始(ラブル前3席)	・継続 ※入館記録と連動	・継続(ラブル前3席+5席)	・拡大(9/25) ※出意席の間引き継続	・継続
▶閲覧席利用制限	・5/21～ 一部椅子利用開始 (開架C通路-32席)	・利用可能 閲覧イスの拡大 ※開架C通路-50席程度、座席側机席-13席、ララス側机席-8席(一机おき1席)	・継続(※6/19 現在) ※レファC前机12席 ※雑誌C机2席、イス6席 ※郷土C机4席+イス2席 ※子ども室机・イス約30席	・継続(※7/9 現在) ※開架C机57席+イス48席 ※雑誌C机6席+イス8席 ※郷土C机4席+イス6席 ※子ども室机8席+イス26席	・継続	・拡大 ※開架奥、ララス前 ソファ一部、 冊架スワール配置(11/6) ※絵本読み聞かせ再開(11/7) ※文学館前、子ども室横、ビジネス横 ソファ配置 (3/22)
▶OPAC席利用制限	・5/21～ 映像R等6席利用開始	・継続+文学の小路中庭側(机8席)	・継続 ※利用状況により追加検討	・継続 ※利用状況により追加検討	・継続	・継続
▶利用椅子の撤去	・全ての椅子撤去	・継続	・3席利用開始 ※清拭注意	・継続	・継続	・継続
▶利用数減少	・5/21～ 閲覧席2席利用開始	・継続 3席に拡大 +1席	・継続 ※OPAC席2にイス配置	・継続 ※利用状況により追加検討	【休館前回復】	・継続
▶インターネット席利用制限	・館内全ての椅子撤去 ※5/21～端末下に嵩上台設置	・継続	・着座利用席にイス配置 ※レファC前の席数2は継続	・継続 ※利用状況により、着座利用席の拡大検討	【休館前回復】	・継続
▶ビジネス端末席利用制限	・レファC前 一席おき利用 ・全端末利用停止	・端末2席利用開始 ※1人1日1回(30分)限定 ※利用前手指消毒、利用後端末清拭	・各端末にイス配置 ※利用端末数2は継続	・継続 ※利用状況により、席数・利用回数の拡大検討	【休館前回復】	・継続
▶新刊図書配置場所変更	・5/21～ 1席利用開始 ※利用時間(1時間以内)、利用申込、利用前に手指消毒	・継続	・2席に拡大、イス配置	・継続 ※利用状況により利用席・利用時間拡大検討	【休館前回復】	・継続
▶新聞閲覧場所変更	・中庭前に移動 ・レファC前閲覧机、イス無し 5/21～ 嵩上台設置	・継続 ・継続	・継続 ・休館前の場所に復帰、消毒液配置 ※閲覧机等を利用し、広範囲に配置	・継続 ※新刊配置書架の利用検討 ・継続	・元位置(12/8) 【休館前回復】 ・継続 ※ラブル前イス有に主要8紙移動	・継続
▶各カウンター・窓口対応	・一部閉鎖(アクリル板設置) ・開(長時間の読書相談、予約受付は停止)	・継続	・継続 ※イス配置 【休館前回復】	・継続	・番号表示器設置(3/26)	・継続
▶レファレンス	・閉	・開 通常業務開始	・継続 ※イス配置 【休館前回復】	・継続		
▶郷土資料	・閉	・継続	・開 通常業務開始 【休館前回復】	・継続		
▶子ども室	・開【休館前回復】	・開 通常業務 【休館前回復】	・継続			
▶白川文学学の室	・開【休館前回復】					
▶文学館	・開【休館前回復】					
▶文書館	・開【休館前回復】					
▶貸返カウンター対応	・3か所稼働(アクリル板設置)	・継続	・継続	・継続	・継続	・継続
▶利用者導線指定	・足元マーカー、矢印等	・継続	・継続	・継続	・継続	・継続
▶整理職員の配置	・間隔注意、順番整理	・混雑時のみ対応	・継続	・継続	・継続	・継続
▶密閉、接触感染対策	・常時換気、消毒液設置等 ・貸出冊数15冊、期間3週間に拡大 ・返却図書書の3日間取置き	・継続+ドアノブ等の清拭 ※当面、常時換気(扉開放) 継続	・継続 ※3日間取置き停止 【貸出冊数10冊・期間2週間に回復】 【3日間取置き停止】	・継続 ※3日間取置き停止 ※学校夏休みの短縮に合せ 月曜休館日を増 7/27、8/24	・継続	・継続
▶注意事項等の周知	・館内外掲示、SNS利用	・継続(随時変更)	・継続(随時変更)	・継続(随時変更)	・継続(館内に放送内容掲示)	・継続
▶その他	・行事イベント…6月中開催準備 ・ボランティア活動再開(6/2～)	・行事イベント…7月から順次実施 ※県会議開催基準等による	・継続	・継続	・中庭にテーブル席配置(9/21) ・おはなしの部屋を可動式に(3/27)	・継続

※若狭図書館学習センターもこれに準じて対応

令和２年度 取組と達成目標・実績 -図書館（若狭図書学習センターを含む。）-

項目	現 場	挑 戦	協 働	創意工夫	効率化
1 情報の提供	○適切な資料の収集 ○オンラインデータベースの提供 ○情報リテラシー向上の支援	○郷土資料のデジタル化	○他図書館への資料提供	○時代のニーズに適合した、県立図書館に相応しい蔵書構成を実現	○レファレンスジュールの作成
	●受入資料数 22,000 点(22,452 点) ●オンラインデータベース提供 6 種(6 種:日経テレコン 21,JDreamⅢ,マガジンプラス等) ●資料・情報の調べ方講座の開催 2 回(1 回:医療情報)	●郷土資料デジタル化計画の立案 (デジタル化計画策定に係る問題点を整理、福井新聞見出しのデータベースの作成・公開)	●県内市町図書館への相互貸借 冊数 10,000 冊(8,669 冊)	●長期ビジョン、教育振興計画等を踏まえ、「資料収集方針」を改訂(人口減少、人生 100 年時代、新幹線、AI 等) (資料収集関連規程を整備)	●テーマ別調べ方案内等の作成、改訂 8 点(9 点、地形図の調べ方、教科書に出てくる本など)
2 他機関との連携	○県内図書館司書のスキルアップ ○市町図書館との意見交換 ○他図書館等とのレファレンス協力	○残り1冊となった市町図書館の資料の県立図書館での受入(リポジトリ機能)	○インターネット予約による市町図書館での資料受取 ○市町図書館との共同企画の開催	○ビジネス支援(事業創継)、医療健康など他機関と連携した共同企画の開催	○図書館ポータルを活用した市町図書館との情報交換
	●職員研修の開催 5 回(13 回) ●東海北陸地区公共図書館研究集会の開催 (10/16 実施) ●市町図書館への訪問 35 館(35 館) ●レファレンス協同データベース登録件数 50 件(64 件)	●リポジトリ機能を発揮するための仕組みと資料受入に伴う書庫計画の検討 (書庫計画を検討)	●インターネット予約他館受取冊数 6,000 冊(6,970 冊) ●市町図書館との共同企画 1 回(1 回:宇宙をテーマに特集展示)	●他機関と連携した本の特集 35 回(35 回) ●他機関と連携したイベント 15 回(41 回)	●図書館ポータル掲示板を活用した情報提供 (他館の休館情報、研修案内等)
3 生涯学習活動の支援	○文書館、ふるさと文学館と連携した魅力ある企画の実施 ○シニア向け企画の実施 ○「白川文字学」を学ぶ機会の提供	○子どもの読書活動の推進	○ボランティア活動の受入 ○施設を有効活用し、活動発表や学習機会を提供	○ホームページ、SNSにより図書館サービスやイベント等の情報発信を強化	○マイナバンカードの図書館利用 ○効果的な広報の実施
	●3館連携企画 3 回(6 回) (探検隊、ライブラリーステイ、石川九楊の世界展、宇宙、そば) ●シニア向け講座 10 回(0 回) ●白川文字学ワークショップ 2 回(2 回) ●白川文字学テーマ展示 4 回(4 回) ●新型コロナウイルス感染症予防対策を実施 (4/4～5/10 臨時休館など)	●ジュニア司書の養成 (本館 15 名、分館 4 名) ●特別支援学校での読み聞かせ (0 回) ●県立学校での郷土資料調べ方講座の開催 (1 回) ●推奨図書コーナーの設置 (子ども室入口にコーナーを設置) ●「おひざでだっこ」の継続	●図書館ボランティア受入 130 人(130 人) ●多目的ホール稼働率 60%(36.9%)	●ホームページ閲覧数 24,000 回/月(22,352 回/月) ●SNSやメディアによる効果的な広報の検討 (twitter による情報発信、新聞やテレビ等での報道)	●マイナバンカードを図書館利用カードとして利用できる環境整備 (R2.7～実施) ●メールマガジンの廃止、紙媒体広報資料の効果的な使用 (メールマガジン を 4 月に廃止、図書館ふくいを小中高校にデータ送信) ●押印廃止など規則、規程等を改正

※上段は取組項目、下段は目標 ※ () は令和２年度末の実績値等、ゴシック体は令和２年度の新規項目

※本案は令和２年４月当初のものであり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ここに示された業務・行事等がやむを得ず延期や中止になることがあります。

2 刊行物

(1) 福井県立図書館

- ・福井県立図書館年報 令和２年度(令和元年度実績)
- ・福井県立図書館だより「図書館ふくい」令和２年４月号～令和３年３月号 (No.199～209)
- ・かたらい文庫増加図書目録 2020
- ・「よみきかせボランティアのためのおすすめえほん」季刊
- ・「よみきかせボランティアのためのおすすめえほん 2012 夏－2020 春（冊子版）」
- ・福井県公共図書館職員名簿 令和２年 (PDF)

(2) 福井県立若狭図書学習センター

- ・若狭図書学習センターだより「若狭路」令和２年４月号～令和３年３月号

3 運営費状況 (令和２年度決算)

(1) 福井県立図書館

費 目	金 額 (千円)	事 業 概 要
図 書 館 資 料 整 備 費	36,290	図書購入、雑誌購入、新聞購入、その他資料購入
郷 土 資 料 調 査 整 備 費	604	マイクロフィルム作成
図 書 館 活 動 推 進 費	664	公共図書館職員研修、東海北陸地区公共図書館研究集会
県立図書館運営懇話会 開 催 事 業 費	56	運営懇話会開催
フレンドリーバス運行事業費	17,779	フレンドリーバス運行事業
県立図書館サービス 向 上 事 業	3,561	ビジネス支援用データベース、子ども室整備、遠隔地利用者返却サービス、大学図書館連携、マイナンバーカード利用整備
子どもの読書推進事業	275	ライブラリーステイ
図 書 館 管 理 費	216,438	庁舎維持管理
図 書 館 情 報 シ ス テ ム 費	20,311	電算管理運営
計	295,978	

(2) 若狭図書学習センター

費 目	金 額 (千円)	事 業 概 要
若狭図書学習センター 資 料 調 査 整 備 費	8,294	図書購入、雑誌購入、新聞購入、その他資料購入
若狭図書学習センター 管 理 費	27,275	庁舎維持管理
計	35,567	

Ⅲ 図書館概要

1 一般利用者向けサービス

(1) 貸出

貸出冊数：10 冊 貸出期間：2 週間

(2) 遠隔地返却サービス

県立図書館で借りた資料を地元の市町立図書館で返却できるサービスを県立図書館所在地である福井市、小浜市を除くすべての市町立図書館で実施している。

大学生、大学教職員を対象に、県立図書館で借りた資料を所属の大学図書館（短大、高専含む）で返却できるサービスを県内 8 校で実施している。

また、F スクエア（大学連携センター）、福井県庁情報公開室でも、県立図書館で借りた資料を返却できるポストを設置している。

(3) 予約、リクエスト

館内のほか、電話やインターネットでの予約（マイページサービス）を受付けている。未所蔵の資料については、購入または他図書館からの借用により提供している。

(4) 複写

著作権法の範囲内で実施している。1 枚につきモノクロ 10 円、カラー 80 円。

(5) レファレンス

対面、電話、文書（メール含む）により、調査相談業務を行っている。主な事例はホームページやレファレンス協同データベースで公開している。

図書館に寄せられた調べ物の中から、タイトルや著者などがはっきりしないうろ覚え事例を集めた「覚え違いタイトル集」や、テーマ別の調べ方案内を作成し、ホームページで公開している。

(6) 課題解決支援サービス

① ビジネス支援

就職や起業などビジネスに役立つ図書や雑誌を集めたビジネス支援コーナーを設置している。本館では、（公財）ふくい産業支援センターと連携し、セミナーや相談会などの企画事業を定期的に開催している。

② 医療健康情報

健康や病気に関する図書、雑誌や闘病記、また県内外の医療機関のパンフレットなどを集めた医療健康コーナーを設置し、情報を提供している。本館では、（公社）福井県看護協会、福井県がん診療連携協議会、（公財）福井県健康管理協会と連携した相談会や健康診断を実施している。

③ 法律情報

本館では、各種法令や判例集を集めた法律情報コーナーを設置し、法テラスの各種情報リーフレットも提供している。また、福井県弁護士会や法テラス福井と連携し、無料法律相談会の定期開催や法律問題についてわかりやすく学べる講演会を開催している。

(7) 児童サービス

定例イベントとして、本館では毎週土曜日におはなし会、乳幼児向けとして「おひぎでだっこの会」を月 2 回程度、育児講座を隔月 1 回、小学生向けのおはなし会を年 4 回実施している。分館では、乳幼児向けの「おひぎでだっこの会」を月 1 回、ALT を活用した「英語のおはなし会」を年 3 回、生涯学習部門と連携した企画「ウェルカム！こども企画」（月 1 回程度）でのおはなし会を実施している。（令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント休止多数）

子どもの読書活動にかかわる個人や団体を支援するため、「よみきかせ相談会」や「ボラ

ンティアのためのよみきかせ講座」を開催している。また、出張おはなし会や図書館、学校等の団体が主催する研修会に、講師として職員を派遣している。

(8) ティーンズサービス

本館では、ティーンズ世代を対象とした講演会を実施している。

(9) シニア向けサービス

本館では、シニア世代に関心の高い分野の図書を集めた「いきいきライフ応援コーナー」を設置している。また、「シニアいきいきセミナー」を月1回開催し、生きがいづくりを手助けし暮らしに役立つ講座や、文学作品等を参加者全員で一緒に声に出して読む「あたまイキイキ音読教室」を行っている。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりセミナーは休止)

(10) 障がい者サービス

本館では、館内に拡大読書器や音声読み上げ検索端末を整備し、LLブックや点字付き絵本、大活字資料の貸出を行っている。また、視覚障がい者を対象に、録音資料(カセットテープ、DAISY)や点字資料の郵送サービスを実施しているほか、視覚障害者情報総合ネットワーク(サピエ)に加盟し、録音資料の提供を行っている。

2 閲覧室概要

(1) 県立図書館

①一般閲覧室

主題別に自然科学、社会科学、人文科学、文学の4分野と特定資料コーナーを配置し、あわせて約25万冊を配架している。

また、特定のテーマのもとに関連資料を集めたコーナーとして、「ビジネス支援コーナー」、「外国語コーナー」、「医療健康コーナー」、「法律情報コーナー」、「いきいきライフ応援コーナー」、「学校教育応援コーナー」、「読書バリアフリーコーナー」、「ティーンズコーナー」を設置し、利用の便宜を図っている。このほか、時事問題や季節のイベントなど様々なテーマによる本の紹介や展示コーナーを適宜設置し、利用促進を図っている。

また、館内に検索端末21台(子ども室、郷土資料コーナー、新聞・雑誌コーナー含む)、データベース端末3台、インターネット端末5台(子ども室含む)を設置している。データベース端末では、日経テレコン21、MAGAZINEPLUS、TKCローライブラリー、JDreamⅢ、官報情報、国立国会図書館デジタルコレクション、歴史的音源(れきおん)配信サービスを無料で提供している。

館内にはWi-Fiを整備し、利用者が持参したパソコンを利用できる。また、パソコンや電卓など音の出るものを使用禁止にしたサイレント席も設置している。

②子ども室

中学生までを対象に、図書、絵本、紙芝居など約4万冊を配架している。子どもの本や読書に関する資料を集めた「児童文学研究書コーナー」、育児に関する図書・雑誌と乳幼児向け絵本を集めた「おひぎでだっこのコーナー」、25年以上前から読み継がれている絵本を集めた「おすすめえほんコーナー」、「子どもの成長段階に応じた推奨図書コーナー」等を設置している。

また、絵本の読み聞かせや「おはなし会」を行う「おはなしの部屋」を設置しており、行事がない場合は自由に利用できる。

③郷土資料コーナー

福井県関係資料(文学を除く)約4万冊を配架している。県政情報コーナーを設置し、県各種お知らせや行事等の情報を提供している。

福井県ゆかりの作家や作品など文学関連資料は、ふるさと文学館展示室周囲の「図書ゾ

ーン」に配架し、文学資料の展示と図書利用の連携を図っている。

④新聞・雑誌コーナー

全国紙、地方紙等の新聞と、各種雑誌を配架している。子ども向けの新聞、雑誌は子ども室内に、郷土関連の雑誌は郷土資料コーナーに、ビジネス関連の雑誌はビジネス支援コーナーに配架している。

⑤白川文字学の室（へや）

館内に「白川文字学の室」を設置し、福井県出身の漢字・文字研究者である故・白川静博士の直筆原稿、著作や漢字文化に関する資料、甲骨文字や青銅器の複製品や復元書斎を展示している。漢字の成り立ちを説明したパネル展示、難読漢字クイズのほか、白川文字学に親しんでもらうワークショップやイベントを行い、白川文字学の普及に努めている。

（２）若狭図書学習センター

①一般資料コーナー

一般向け資料として、約 6 万冊を配架している。また、嶺南地域の特色・特性に関する重点収集資料コーナーとして、海洋や漁業、湖に関する「海湖コーナー」、人権や同和問題に関する「人権コーナー」、原子力工学や原子力発電に関する「原子力コーナー」を設置している。このほか、「ビジネス支援」「医療健康」「ティーンズ」「大活字」「外国語」「白川文字学」の各コーナーを設けて、関連資料を集めている。

また、図書室内に検索端末 4 台、データベース端末 2 台、インターネット端末 2 台を設置している。データベース端末では、MAGAZINEPLUS、TKC ローライブラリー、JDreamIII、官報情報、国立国会図書館デジタルコレクション、歴史的音源（れきおん）配信サービスを無料で提供している。

②子どもコーナー

中学生までを対象に、図書、絵本、紙芝居など約 2 万冊を配架。児童文学研究書も集めている。

③郷土資料コーナー

福井県関係資料 約 1 万 5 千冊を配架している。うち、嶺南地域ゆかりの 5 名の作家（岡崎純、桑原武夫、水上勉、山川登美子、山本和夫）関係の資料は「ふるさと文学」として別置している。

3 団体への支援、連携

（１）市町立図書館

協力貸出宅配便（LiBox）を週 2 回（一部の図書館は週 1 回）実施し、県立図書館の協力貸出資料のほか、各市町立図書館受取のインターネット予約資料、各館相互貸借資料、遠隔地利用者からの返却資料などを搬送している。

県内市町立図書館との連携協力を深めるため、各市町立図書館を訪問し、業務相談なども行っている。

県内公共図書館職員のスキルアップを図るため、基礎講座、実務講座、専門講座、児童サービス研修会など各種研修や、県図書館協会等との共催による研修を実施している。

県内公共図書館の利用促進を図るため、統一テーマのもと各館で本やパネル等の展示を行う合同企画を実施している。

（２）学校、学校図書館

学校向けに市町立図書館等貸出文庫の貸出や、貸出冊数および期間を拡大した特別貸出を行っている。使用する単元や学年等の要望に沿って、図書館資料を事前に用意しておくサービスも行っている。また、団体貸出や施設見学など、学校向けサービスの内容や具体

的な利用方法、授業で活用可能な学習支援用図書リスト（小学校用）を掲載した「福井県立図書館利用ガイド～学校用～」を提供している。

県内の小中学校を対象に、県内の地区ブロックごとに巡回している学校巡回図書文庫の貸出を行っている。また、県立高等学校図書館（福井市、小浜市を除く）への貸出は県立図書館が送料を往復負担し、利用促進を図っている。

本館では、子どもの読書活動推進における図書館の継続的かつ効果的な学校支援の方法を探るため、福井市六条小学校と連携し、当館職員が同校を訪問してブックトークやおはなしの会等を行い、児童の読書活動の把握に努めている。

（３）大学図書館（短大、高専含む）

県内の大学図書館 8 校と協定を締結し、県内公共図書館との相互貸借を実施している。協力貸出宅配便（LiBox）により、週 1 回資料搬送を行っている。

また、大学生・大学教員を対象に県立図書館で借りた本を所属の大学図書館で返却できるサービスを実施している。

（４）県外図書館

東海北陸地区の県立図書館と相互貸借協定を締結し、石川県・富山県とは週 2 回、岐阜県・愛知県とは週 1 回の宅配定期便で資料搬送を行っている。

また、北陸地区県立図書館長会による連携事業として、北陸 4 県（新潟・富山・石川・福井）合同で所蔵資料交流展示会を各館にて開催している。

（５）その他団体

グループでの読書活動を支援するため、同じ本を 10～15 冊セットにした「かたらい文庫」の貸出を行っている。このほか、市町立図書館等貸出文庫（団体専用資料）の貸出や、貸出冊数や期間を拡大した特別貸出を行っている。

4 その他

（１）ボランティア

本館では、資料整理および白川文字学の室受付のボランティアとして、令和 2 年度は 130 人の方が登録し、協力いただいている。また、子ども向けのおはなし会でも、県内在住のボランティア 2 名に協力いただいている。

（２）フレンドリーバス

本館では、ＪＲ福井駅と県立図書館、県生活学習館、県立こども歴史文化館、福井市美術館等を結ぶ無料のフレンドリーバスを 2 コース、30 分間隔で運行している。

（３）国際交流

「姉妹図書館協定」を締結している中国浙江省の浙江図書館と資料交換を行っている。また、北陸地区県立図書館長会の交流事業として韓国ソウル特別市立正読図書館と図書の交換を行っている。

（４）広報

月刊広報誌として本館では『図書館ふくい』、分館では『若狭路』を発行している。また、ホームページ、ツイッター、フェイスブックにより、様々な活動を発信している。

IV 行事实施状況

1 会 議

県立・市町立図書館長会議、事務連絡会議は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 研 修

(1) 福井県公共図書館職員基礎講座 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) 福井県公共図書館職員実務講座 第1回

期 日	令和2年9月8日(火)、9日(水)
会 場	8日：県立図書館 多目的ホール 9日：若狭図書学習センター講堂
内 容	調べ学習講座～百科事典を中心に、インターネットと本と～ 講師：齋木小太郎氏(ポプラ社教育コンテンツ事業局ポプラディア事業部) ※両日とも講師はリモートによる講義
参加人数	21名(8日：13名、9日：8名)

福井県公共図書館職員実務講座 第2回

期 日	令和2年12月16日(水)
会 場	県立図書館 多目的ホール
内 容	使いこなそう！インターネットで使えるレファレンスツール 講師：当館職員
参加人数	22名

(3) 福井県公共図書館職員専門講座(兼日本図書館協会地方講習会、福井県図書館関係職員研修会)

期 日	令和2年11月18日(水)
会 場	県立図書館 多目的ホール
内 容	好奇心のひろがる棚に！サインと配架を工夫する 講師：中川卓美氏(元愛荘町立図書館職員)
参加人数	59名
共 催	日本図書館協会、福井県図書館協会

(4) 福井県図書館関係職員研修会(兼北陸地区公共図書館職員研修会)

期 日	令和2年10月1日(木)
会 場	県立図書館 多目的ホール
内 容	講演「読書バリアフリー法を生かすために」 講師：野口武悟氏(専修大学文学部教授) 事例発表「『やさしいまち明石』の図書館が目指すユニバーサルサービス」 発表者：大久保明子氏(あかし市民図書館長) ※講師、発表者ともリモートによる講義
参加人数	27名
共 催	北陸地区県立図書館長会

(5) 福井県公共図書館児童サービス研修会

期 間	令和2年7月～令和3年3月
内 容	①通信研修「児童資料入門編～基本的な絵本を読む～」 ②通信研修「児童資料初級編～基本的な物語を読む～」
参加人数	①13名、②14名

期 日	令和3年3月19日(金)
会 場	県立図書館 研修室

内 容	通信研修ワークショップ編 ①「児童資料入門編」 ②「児童資料初級編」 講師：坪内啓子氏
参加人数	①9名、②8名

期 日	第1回 令和3年2月16日(火) 第2回 令和3年3月3日(水)
会 場	県立図書館 多目的ホール
内 容	第1回「幼年文学を知る・選ぶ」 第2回「小学校高学年向けの読み物を知る・選ぶ」 講師：土居安子氏（児童文学研究者、大阪国際児童文学振興財団理事・総括専門員）
参加人数	第1回22名、第2回21名

期 日	令和2年9月16日(水)
会 場	若狭図書学習センター 講堂
内 容	ブックトーク基礎講座 講師：三田村悦子氏
参加人数	12名

期 日	令和2年11月25日(水)
会 場	若狭図書学習センター 研修室
内 容	手遊び・わらべうた研修会 講師：我喜屋啓子氏
参加人数	14名

期 日	令和3年2月19日(金)
会 場	若狭図書学習センター 講堂
内 容	読み聞かせ研修会 講師：松井由起子氏
参加人数	11名

(6) 東海北陸地区公共図書館研究集会

期 日	令和2年10月16日(金)
会 場	県立図書館 多目的ホール
内 容	研究主題：未来につなぐ地域資料サービス 講演「地域を元気にする地域資料」 講師：蛭田廣一氏（松本大学・実践女子大学非常勤講師、元小平市立図書館長） 事例発表 ①「100年後の利用者のために～市民と紡ぐ地域資料・桑名市立中央図書館の取り組みから～」 発表者：松永悦子氏（長島輪中図書館） ②「『デジタルアーカイブ福井』の挑戦～文化庁裁定制度を利用した公開、他館との協働～」 発表者：長野栄俊（福井県文書館・福井県立図書館）
参加人数	50名
主 催	東海北陸地区公共図書館協議会、福井県立図書館

(7) その他講師派遣

研修名	期 日	備 考
なかよししましょ	7/8(水)、9/9(水)、 11/11(水)、 1/13(水)、3/10(水)	こども家族館
読書会 本の紹介	11/17(火)	福井県立農林高等学校

令和2年度 第2回児童厚生2級指導員研修会	11/19(木)	福井県児童館連絡協議会
荒土小学校よみきかせ会	12/16(水)	勝山市立荒土小学校
美浜町ボランティア研修会	12/23(水)	美浜町立図書館
本の修理講座	1/17(木)	小浜市宮川公民館
木田っ子夢プロ 2020	1/29(水)	福井市立木田小学校
文学講座「日本の文学・文化から見る感染症とのつきあい方」	3/21(日)	おおい町立名田庄図書館

3 イベント

(1) 県立図書館

① 開館 70 周年記念企画

事業名	期 日	講 師 等	参加人数
わたしの書評	8/1(土)～3/31(水)		95
ライブラリーステイ ー図書館に泊まって災害を学ぶー	10/3(土) ～10/4(日)	福井県防災士会、当館・県 文書館・県ふるさと文学館 職員	25
子ども国際講座「メリークリスマス！アメリカ を知ろう」	12/13(日)	ゾーイ・ウィンバーン氏(福 井県国際交流員)	26

② 講演会・講座

事業名	期 日	講 師 等	参加人数
講座「子どもといっしょに本を楽しむ」	2/11(木・祝)	松原和子氏(福井おはなし の会所属、元福井市立清水 図書館職員)	21
ティーンズ講演会「スペース・エンジニアになる には」(リモート形式)	2/13(土)	宮里光憲氏(JAXA 広報部 特 任担当役) 共催：県産業技術課、福井 県民衛星技術研究組合	20
児童文学講座「菱木晃子講演会 アストリッ ド・リンドグレーン再発見」 (兼・令和2年度福井県公共図書館児童サービ ス研修会)	3/26(金) ※5/10(日)から延 期	菱木晃子氏(北欧児童文学 翻訳家)	62

③ ビジネス支援コーナー関連行事

事業名	期 日	共 催	参加人数
創業セミナー 創業計画書作り勉強会	8/13(木)、 11/12(木)、3/9(火)	ふくい産業支援センター	25
福井ビズカフェ With コロナ時代に対応する 「ZOOM ビジネス活用セミナー」	9/13(日)	ふくい産業支援センター	25
女性創業セミナー	1/30(土)	ふくい産業支援センター	24 (ZOOM 59)

④ 医療健康コーナー関連行事

事業名	期 日	共 催	参加人数
県立図書館 de がん相談	9/26(土)	県がん診療連携協議会	22
JDream III ショートセミナー	9/26(土)		4

⑤ 法律情報コーナー関連行事

事業名	期 日	共 催	参加人数
無料法律相談会	6/18(木)、7/16(木)、 8/20(木)、9/17(木)、 10/15(木)、11/19(木)、 12/17(木)、1/21(木)、 2/18(木)、3/18(木)	福井弁護士会、 法テラス福井	24

⑥ 体験講座等

事業名	期 日	講 師 等	参加人数
今こそ、おうちで！よみきかせ Days スタンプラリー	6/19(金) ～8/26(水)		—
としょかん探検隊	8/2(日)、8/8(土)	当館、県文書館、県ふるさと文学館職員	16
ウッドバーニング（焼き絵）教室	8/23(日)	江端一男氏	32
アグリ体験ツアー	9/22(火・祝)	FM福井、J A福井県福井基幹支店（喜ね舎）と連携	40
ウィキペディアタウン in 小浜	3/13(土) ※6/6(土)から延期	下仲隆浩氏（小浜市文化課） 会場：小浜市立図書館 若狭図書学習センター共催	18
春休みこども図書館活用講座「めざせ、図書館マスター！」	3/28(日)	当館職員	4

⑦ おはなし会等

事業名	期 日	講 師 等	参加人数
えほんのよみきかせ会	11/7(土)～ 毎週土曜日	当館職員	74

⑧ 白川文字学の室関連行事

事業名	期 日	共 催	参加人数
消しゴムハンコで古代文字	8/1(土)	岸下順一氏	26
古代文字を学ぼう	9/17(木)、10/15(木)、 11/19(木)、12/3(木)、 12/17(木)、1/7(木)、 1/21(木)、2/4(木)、 2/18(木)、3/4(木)、 3/18(木)	白川文字学遊愛会	121
蔵書印講座	12/6(日)	岸下順一氏	17
「合格祈願御炭付き（おすみつき）」グッズ進呈	1/9(土)、1/13(水) ～3/5(金)	勝山市荒土大好きプロジェクト（勝山市立荒土小学校）	100

⑨ ライブラリーコンサート

事業名	期 日	出 演 者	参加人数
ロス・アミーゴス in 県立図書館～アンデスの響きに包まれて～	11/29(日)	Los Amigos（ロス・アミーゴス）	60

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止したイベント

事業名	期 日	講 師 等
こどものための哲学 in としょかん～春～「友だちってなんだろう？」	4/18(土)	西村高宏氏（福井大学医学部准教授）、近田真美子氏（福井医療大学准教授）
こどもの読書週間記念企画「みんなで輪読！新訳リンドグレーン」	5/10(日)	当館職員

えほんとかみしばいの会	毎月第3土曜日、偶数月第1土曜日	当館職員
えほんとおはなし会	毎月第2・4・5土曜日	福井おはなしの会、当館職員
かがくえほんの会	奇数月第1土曜日	当館職員
おひざでだっこの会	月2回	当館職員ほか
小学生のためのおはなし会	年4回	福井おはなしの会、当館職員
あたまイキイキ音読教室	4/22(水)、5/20(水)、6/17(水)、7/15(水)、9/16(水)、10/21(水)、11/18(水)、12/16(水)、3/17(水)	当館職員
まちの保健室 in 県立図書館	5/13(水)、6/10(水)、7/8(水)、8/12(水)、10/14(水)、11/11(水)	福井県看護協会との連携

(2) 若狭図書学習センター

事業名		期 日	講 師	参加人数
ウェルカム！こども企画		7/19(日)、8/25(火)、8/26(水)、8/28(金)、9/5(土)、10/18(日)、11/3(火・祝)、11/20(金)～22(日)、12/20(日)、1/16(土)、2/21(日)、3/7(日)	<おはなし会> 当館職員 <体験> 原子力の科学館「あっとほうむ」、若狭高校軽音楽部、福井工業大学科学実験キャラバン、福井県こども家族館他	461
おひざでだっこの会		7/15(水)、8/5(水)、9/2(水)、10/14(水)、3/17(水)	当館職員	31
おひざでだっこの会 スペシャル	がっちゃん編	11/25(水)	我喜屋啓子氏	24
	ベビーヨガ編	12/17(木)	MIKI 氏	18
	ベビーマッサージ編	1/20(水)	夜久由香里氏	8
	ベビーフォト編	2/17(水)	長野良光氏	18
わくわくセット		3/4(水)～5/31(日)		—
七タメッセージボード		6/19(金)～7/7(火)		—
雑誌プレゼント！		10/23(土)～11/3(火)、11/14(土)～25(水)		—
アドベントカレンダー		12/5(土)～12/25(金)		—
クリスマスツリーを飾ろう		12/5(土)～12/25(金)		—
本の福袋		12/19(土)～1/11(月・祝)		—
福井県公共図書館利用促進事業関連「月面X（エックス）観察会」		2/19(金)	当館職員	7
福井県ふるさとの日記念関連講座「官僚柳田国男、若狭に来る」		2/23(火・祝)	川波久志氏（県立若狭歴史博物館）	33
ウィキペディアタウン in 小浜		3/13(土) ※6/6(土)から延期	下仲隆浩氏（小浜市文化課）会場：小浜市立図書館 県立図書館と共催	18
福井県公共図書館利用促進事業関連「望遠鏡でお月見会」		3/23(火)、3/24(水)	当館職員	73

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止したイベント

事業名	期 日	講 師 等
ウェルカム！こども企画特別編 「夏休み自由研究ガイド」	7/26(日)	当館職員
ウェルカム！こども企画特別編 「ゆったりシアター（子ども向け映画会）」	8/9(日)、8/23(日)	当館職員
英語のおはなし会	6/13(土)、11/7(土)、 3/13(土)	小浜第二中学校 ALT ほか
小学生のための読書感想文教室	7/19(日)	当館職員

4 企画展示・本の特集

(1) 県立図書館

① こどもの読書週間

事業名	期 間	備 考
こどもの読書週間記念企画 「ようこそ！リンドグレーンの世界へ～世界中で愛され続ける『長くつ下のピッピ』の作家～」	5/11(月)～6/24(水)	Web 展示あり

② 郷土資料コーナー

事業名	期 間	備 考
福井県立図書館のあゆみ ～since 1950～	5/11(月)～6/24(水)	Web 展示あり、開館 70 周年記念企画
蔵出し！ふくいのタウン誌	7/10(金)～8/26(水)	
ふくいの食	10/23(金)～12/15(火)	
地図で見る福井県の誕生	1/29(金)～2/14(日)	「ふるさとの日」関連企画
福井県はそばがおいしい都道府県 1 位	3/4(木)～4/11(日)	県福井米戦略課、県文書館、県ふるさと文学館と連携

③ 一般特集コーナー

事業名	期 間	備 考
コロナに克つ！	5/11(月)～6/24(水)	
夏は社会をアツくする。	6/26(金)～8/30(日)	
秋の夜長はロングセラー	9/2(水)～11/8(日)	
世界の文字と書	10/23(金)～1/24(日)	県ふるさと文学館と連携
「障がい」を知る。	11/11(水)～12/27(日)	
本で発見！ふくいの魅力	1/7(木)～2/28(日)	「ふるさとの日」関連企画
災いから身を守る	3/3(水)～5/5(水・祝)	

④ 一般資料ミニ特集

事業名	期 間	備 考
【追悼】外山滋比古氏	8/17(月)～9/17(木)	
自殺予防週間ミニ特集	8/28(金)～9/16(水)	県障がい福祉課と連携
セカンドライフを考える	10/6(火)～10/18(日)	県労働者福祉協議会と連携
北陸 4 県・県立図書館所蔵資料交流展示会 北陸の食文化	12/2(水)～12/15(火)	北陸地区県立図書館会主催
人権図書の紹介コーナー	12/4(金)～12/18(金)	県市町人権教育・啓発連絡協議会と連携
自殺予防ミニ特集	3/2(火)～3/23(火)	県障がい福祉課と連携

⑤ ビジネス支援コーナー

事業名	期 間	備 考
R元年度に入ったビジネス関係の本	5/11(月)～7/8(水)	
起業のススメ	7/10(金)～8/26(水)	ふくい産業支援センターと連携
コロナ禍の中での仕事のあり方	8/28(金)～11/22(日)	ふくい産業支援センターと連携
社会人のための学び直しに役立つ本	11/27(金)～12/23(水)	中小企業産業大学校と連携
知っていますか SDGs のこと	12/25(金)～2/23(火・祝)	
ビジネスに活かそう！SNS コミュニケーションツール	2/26(金)～4/11(日)	

⑥ 医療健康コーナー

事業名	期 間	備 考
がん関連図書の特集	8/28(金)～9/30(水)	県がん診療連携協議会と連携
認知症関連図書コーナー	10/16(金)～10/23(金)	福井市地域包括ケア推進課と連携

⑦ ティーンズコーナー

事業名	期 間	備 考
本屋大賞作品はいかが	5/11(月)～5/27(水)	
あおのほん	7/10(金)～8/30(日)	
理系に触れてみる！？	9/4(金)～10/21(水)	
読書の秋に短編集	10/23(金)～11/25(水)	
受験生応援します！	11/27(金)～1/27(水)	
宇宙への旅（福井県公共図書館利用促進事業）	1/29(金)～3/24(水)	県産業技術課、県内公共図書館、県文書館、県ふるさと文学館と連携
子どもの成長段階に応じた推奨図書 高校生編	3/26(金)～4/11(日)	県生涯学習・文化財課と連携

⑧ 「ワーキングマザーに贈る本」コーナー

事業名	期 間	備 考
大人が読みたい絵本	5/11(月)～7/8(水)	

⑨ 子ども室特集コーナー

事業名	期 間	備 考
本とであう夏～小学生におすすめの本～	6/26(金)～8/30(日)	
夏はやっぱり!?こわ～いほん	7/19(日)～8/30(日)	
過去の課題図書はいかがですか	7/31(金)～8/30(日)	
夏休み宿題おたすけ本～自由研究・工作・植物図鑑～	7/31(金)～8/30(日)	
めざせ図書館マスター！ 図書館のつかいかたの本・図書館がでてる本	9/4(金)～11/15(日)	県生涯学習・文化財課主催「福井県ジュニア司書養成講座」と連携
たのしみだね クリスマス	11/27(金)～12/25(金)	
おしょうがつの本	12/27(日)～1/27(水)	
本でふくいを知らう～子ども郷土資料～	1/30(土)～2/28(日)	「ふるさとの日」関連企画
小学校の国語の教科書にのっている本～入学・進級おめでとう～	3/5(金)～4/11(日)	

⑩ 子ども室ミニ特集

事業名	期 間	備 考
たなばたと星のほん	6/14(日)～7/5(日)	
月の本	9/25(金)～10/2(金)	
ハロウィンの本	10/4(日)～10/31(土)	
ゆき	12/5(土)～1/16(土)	

岩波少年文庫創刊 70 年「心ゆさぶる、さし絵の世界！」	12/20(日)～3/24(水)	岩波書店との連携
節分と鬼の本	1/19(火)～2/2(火)	
おかしのえほん	2/6(土)～3/6(土)	
ともだちの本	3/7(日)～	

⑪ 白川文字学の室（白川博士生誕 110 年記念展示）

事業名	期 間	備 考
白川静博士の生い立ちとそのあゆみ	5/11(月)～7/8(水)	県生涯学習・文化財課関連展示「直筆書簡 初公開」5/11(月)～5/27(水)、Web 展示あり
白川静博士の仕事	7/10(金)～10/21(水)	
「書」にまつわる漢字	10/23(金)～1/27(水)	県ふるさと文学館と連携
春が来る	1/29(金)～4/11(日)	

(2) 若狭図書学習センター

① エントランスホール・多目的ホール

ア 企画展

事業名	期 間	備 考
緊急 web 展示「嶺南の図書館大集合！」「嶺南のミュージアム大集合！」	4/22(水)～5/6(水)	Web 公開
こどもの読書週間企画「ムーミン 75 周年記念～ムーミン谷をのぞいてみよう！～」	5/11(月)～5/27(水)	
夏休み企画展「シートン生誕 160 周年記念～自然と野生動物を愛し、その大切さを伝えた人～」	7/18(土)～8/30(土)	
パネル展「若狭路 Blue ～青/水色の世界へ～」	7/23(木・祝)～8/30(日)	若狭湾観光連盟ほかと連携
読書週間記念企画「嶺南のフリーペーパー」	10/24(土)～11/25(水)	各フリーペーパー発行所と連携
三好達治生誕 120 年パネル展示	12/5(土)～1/17(日)	ふるさと文学館と共催
福井県ふるさとの日記念「柳田國男が見た明治の若狭路 ～『北国紀行の旅』～」展	1/29(金)～2/28(日)	県立若狭歴史博物館ほかと連携

イ ミニ展示

事業名	期 間	備 考
巡回図書のご紹介～二州・若狭ブロック～	6/13(土)～7/12(日)	
宇宙へ飛んだ若高サバ缶 (福井県公共図書館利用促進事業)	3/5(金)～3/24(水)	パネル展示

② 図書室

ア 一般・子ども特集コーナー

月	一般特集コーナー	子ども特集コーナー
4	エッセイの愉しみ	いのちが生まれる
5		おとうさんおかあさんいつもありがとう♥
6	たのしいペットライフ	絵本で自然を楽しもう！
7	江戸川乱歩	読みたい！！本にきつと出会える～小学生に おすすめの読み物～ 知りたい！！本で調べてみよう～調べ学習の 本～
8	描かれた山	

9	建築の美	いつもありがとう！じいじとばあば
10	知って食べて美味しいさかな	夜空をみあげよう
11	「本」の本、「読書」の本	なぜ？どうして？！科学のふしぎ
12	年末年始お役立ち Books	クリスマス★
1	新しい趣味、見つけよう！	おしょうがつさん
2	学び方を学ぶ	さむさにまけるな!!
3	新生活応援 Books	春へのじゅんぴ

イ 各コーナーミニ特集

一般コーナー	期 間
コロナに克つ！	5/11(月)～6/24(水)
夏の健康管理	6/26(金)～8/26(水)
第 163 回芥川賞・直木賞	7/23(木)～8/6(木)
宇宙へ	9/1(火)～9/22(火・祝)
自殺予防週間関連図書特集	9/8(火)～9/22(火・祝)
探Q ～日常に潜む謎～	9/25(金)～10/21(水)
防ごう！消費者被害	10/9(金)～10/21(水)
いのちを繋ぐ	10/10(土)～10/21(水)
ベストリーダーズ&もう一度読みたい	10/23(金)～11/25(水)
ハンセン病と人権	11/19(木)～11/29(日)
人権ってなんだろう？	12/1(火)～12/27(日)
冬の健康管理	1/5(火)～1/27(水)
第 164 回芥川賞・直木賞	1/20(水)～1/31(日)
働くシニアのための本	1/24(日)～2/7(日)
防ごう！消費者トラブル	1/31(日)～2/14(日)
書評に載った本特集 2020	1/29(金)～2/23(火・祝)
鉱物学の世界	2/10(水)～2/28(日)
宇宙と私たちの歩み(福井県公共図書館利用促進事業)	2/18(木)～3/24(水)
前を向いて歩こう！～ポジティブに生きる～	2/26(金)～3/24(水)
こころを守る	3/2(火)～3/24(水)

子どもコーナー	期 間
こども読書週間企画関連 北欧の本	5/11(月)～5/27(水)
こども読書週間企画関連 ムーミンの本	5/11(月)～5/27(水)
SDG s ってなあに？＜目標 1・目標 2＞	5/11(月)～5/31(日)
SDG s ってなあに？＜目標 3・目標 4＞	6/2(火)～6/30(火)
学校巡回図書！	6/13(土)～7/12(日)
七夕の本	6/19(金)～7/7(火)
ひらいてみよう！ 英語絵本のとびら ～英語と日本語絵本の読みくらべ～	7/1(水)～7/26(日)
シー-ton 動物記	7/18(土)～8/30(日)
SDG s ってなあに？＜目標 5・目標 6＞	9/1(火)～9/30(水)
SDG s ってなあに？＜目標 7・目標 8＞	10/1(木)～10/21(水)
トリック オア トリート！	10/10(土)～10/31(土)
＜読書週間＞めざせ図書館マスター！～図書館のつかいかたの本・図書館がでてる本～	10/23(金)～11/15(日)
ふしぎな北極のせかい ～北極の本～	11/3(火・祝)～11/15(日)
SDG s ってなあに？＜目標 9・目標 10＞	12/1(火)～12/27(日)
みんなちがって、みんないい。～「きもち」を考える本～	12/4(金)～12/17(木)
SDG s ってなあに？＜目標 11・目標 12＞	1/5(火)～1/31(日)
図書館においでよ！	1/16(土)～1/31(日)
節分の本	1/23(土)～2/2(火)
SDG s ってなあに？＜目標 13・目標 14・目標 15＞	2/2(火)～2/28(日)
宇宙へ🚀	2/18(木)～3/24(水)

海の世界へ！	2/21(日)～2/28(日)
SDG s ってなあに？＜目標 16・目標 17＞	3/2(火)～3/31(水)
新たな一歩	3/13(土)～4/4(日)

郷土コーナー	期 間
日本遺産認定「海を越えた鉄道」関連の本	6/20(土)～6/30(火)
この夏は福井県を楽しもう！～Enjoy & Discover Fukui～	7/1(水)～8/11(火)
若狭のおまつり・行事 ～今年は写真や記録でお楽しみください～	8/13(木)～9/22(火・祝)
〈福井県の将来を考える〉ための本	10/21(水)～11/3(火・祝)
三好達治展示関連 三好達治の本	12/5(土)～1/17(日)
福井県ふるさとの日記念展示関連 若狭路を旅した人々	1/29(金)～2/28(日)

ウ 福井ライフ・アカデミー講座関連特集

月	テ ー マ
7	ふるさと未来講座〔芸術・文化〕「アマビエよ、君はいったい何者だ？」関連特集
8	ふるさと未来講座〔芸術・文化〕「組屋の疱瘡神から見る人々の祈り」関連特集
10	ふるさと未来講座〔現代社会〕「ギザギザ湾・美化美化計画」関連特集
11	ふるさと未来講座〔自然科学〕「魅力再発見 南川！」関連特集
1	ふるさと未来講座〔地域づくり〕「カフェからはじまる健康なまちづくり」関連特集
2	ふるさと未来講座〔地域づくり〕「どうする！？町内会」関連特集
3	ふるさと未来講座〔地域づくり〕「ウオーキング教室」関連特集

※本の特集／ライフ・アカデミー講座の受講者に関連図書のブックリストを配布。

エ その他機関との連携特集

事 業 名	期 間	機関名
特別展示「重要文化財鳥浜貝塚・二つの櫛と不思議な漆器」関連特集	9/11(金)～9/27(日)	県立若狭歴史博物館
特別企画展「シマシマが語る 46 憶年の歴史」関連特集	9/21(金)～11/23(月・祝)	県年縞博物館、若狭三方縄文博物館
特別展「金色の煌めき ～金に彩られた若狭のたから～」関連特集	10/24(土)～11/23(月・祝)	県立若狭歴史博物館
「ちょっとむかしのくらし展 洗濯編」関連特集	12/15(火)～3/14(日)	県立若狭歴史博物館

V 統計

1 図書資料の整備概況

区 分 館 名	図 書	新 聞	雑 誌	CD-ROM・ DVD-ROM	マイクロ フィルム	視聴覚資料
県 立 図 書 館	1,071,237 冊	49 種	1,024 種	922 点	6,378 巻	— 点
若狭図書学習センター	291,412	18	256	192	946	1,521
計	1,362,649	67	1,280	1,114	7,324	1,521

(1) 図書

① 形態別受払数および蔵書数

(単位：冊)

区 分		元年度末 蔵 書 数	2 年 度			2 年 度 末 蔵 書 数
			受入冊数	払出冊数	分類変更	
県 立 図 書 館	館 内 用	980,180	17,403	1,405	46	996,224
	館 外 用	60,286	444	266	-44	60,420
	視力障がい者用	14,343	252	0	-2	14,593
	小計	1,054,809	18,099	1,671	0	1,071,237
若狭図書学習センター	館 内 用	287,106	4,353	47	0	291,412
計		1,341,915	22,452	1,718	0	1,362,649

② 分類別受払数および蔵書数

(単位：冊)

分 類		元年度末 蔵 書 数	2 年 度			2 年 度 末 蔵 書 数	構成比
			受入冊数	払出冊数	分類変更		
0 総 記	県 立 図 書 館	43,023	442	399	3	43,069	4.0
	若狭図書学習センター	10,002	104	2	0	10,104	3.5
	計	53,025	546	401	3	53,173	3.9
1 哲 学	県 立 図 書 館	38,470	413	51	32	38,864	3.6
	若狭図書学習センター	11,321	117	2	0	11,436	3.9
	計	49,791	530	53	32	50,300	3.7
2 歴 史	県 立 図 書 館	80,677	1,426	163	20	81,960	7.7
	若狭図書学習センター	24,990	165	1	0	25,154	8.6
	計	105,667	1,591	164	20	107,114	7.9
3 社会科学	県 立 図 書 館	169,060	2,600	162	-14	171,484	16.0
	若狭図書学習センター	39,235	480	5	0	39,710	13.6
	計	208,295	3,080	167	-14	211,194	15.5
4 自然科学	県 立 図 書 館	57,792	959	54	0	58,697	5.5
	若狭図書学習センター	15,957	235	1	0	16,191	5.6
	計	73,749	1,194	55	0	74,888	5.5
5 技 術	県 立 図 書 館	69,182	1,281	48	-3	70,412	6.6
	若狭図書学習センター	18,723	204	2	0	18,925	6.5
	計	87,905	1,485	50	-3	89,337	6.6
6 産 業	県 立 図 書 館	40,953	715	11	-30	41,627	3.9
	若狭図書学習センター	10,388	109	0	0	10,497	3.6
	計	51,341	824	11	-30	52,124	3.8

分 類		元年度末 蔵書数	2 年 度			2 年 度 末 蔵書数	構成比
			受入冊数	払出冊数	分類変更		
7 芸 術	県立図書館	65,973	922	93	-1	66,801	6.2
	若狭図書学習センター	19,903	140	22	0	20,021	6.9
	計	85,876	1,062	115	-1	86,822	6.4
8 言 語	県立図書館	17,682	167	31	0	17,818	1.7
	若狭図書学習センター	4,995	34	0	0	5,029	1.7
	計	22,677	201	31	0	22,847	1.7
9 文 学	県立図書館	149,946	2,382	86	0	152,242	14.2
	若狭図書学習センター	46,555	642	1	0	47,196	16.2
	計	196,501	3,024	87	0	199,438	14.6
こ ど も	県立図書館	98,558	2,590	265	30	100,913	9.4
	若狭図書学習センター	45,550	1,051	5	0	46,596	16.0
	計	144,108	3,641	270	30	147,509	10.8
H 郷 土	県立図書館	135,041	3,238	41	5	138,243	12.9
	若狭図書学習センター	37,427	1,067	6	0	38,488	13.2
	計	172,468	4,305	47	5	176,731	13.0
外国語 (一般)	県立図書館	12,339	198	1	4	12,540	1.2
	若狭図書学習センター	1,341	0	0	0	1,341	0.5
	計	13,680	198	1	4	13,881	1.0
外国語 (こども)	県立図書館	1,484	70	0	0	1,554	0.1
	若狭図書学習センター	719	5	0	0	724	0.2
	計	2,203	75	0	0	2,278	0.2
館 外 用	県立図書館	60,286	444	266	-44	60,420	5.6
	若狭図書学習センター	—	—	—	—	—	—
	計	60,286	444	266	-44	60,420	4.4
視力障がい者用	県立図書館	14,343	252	0	-2	14,593	1.4
	若狭図書学習センター	—	—	—	—	—	—
	計	14,343	252	0	-2	14,593	1.1
合 計	県立図書館	1,054,809	18,099	1,671	0	1,071,237	100.0
	若狭図書学習センター	287,106	4,353	47	0	291,412	100.0
	合計	1,341,915	22,452	1,718	0	1,362,649	100.0

③ 視力障がい者用図書

(単位：冊)

区 分		元年度末 蔵書数	2 年 度			2 年 度 末 蔵書数
			受入冊数	払出冊数	分類変更	
県立図書館	点字図書	5,474	10	0	0	5,484
	録音図書	5,860	75	0	4	5,939
	大活字図書	2,580	162	0	0	2,742
	活字図書	429	5	0	-6	428
計		14,343	252	0	-2	14,593

④ 受入図書内訳

(単位：冊)

区 分		購 入	寄 贈	編 入	生産その他	計
県 立 図 書 館	館 内 用	11,165	5,101	73	1,064	17,403
	館 外 用	385	57	0	2	444
	視力障がい者用	158	56	0	38	252
	小計	11,708	5,214	73	1,104	18,099
若狭図書学習センター	館 内 用	2,799	1,536	0	18	4,353
計		14,507	6,750	73	1,122	22,452

⑤ 購入図書

区 分		冊 数	金 額	平均単価
県 立 図 書 館	館 内 用	11,165 冊	26,871,619 円	2,407 円
	館 外 用	385	510,210	1,325
	視力障がい者用	158	819,487	5,187
	小計	11,708	28,201,316	2,409
若狭図書学習センター	館 内 用	2,799	5,460,521	1,951
計		14,507	33,661,837	2,320

⑥ 寄贈図書

区 分		冊 数	評 価 額	平均単価
県 立 図 書 館	館 内 用	5,101 冊	8,650,556 円	1,696 円
	館 外 用	57	84,563	1,484
	視力障がい者用	56	194,635	3,476
	小計	5,214	8,929,754	1,713
若狭図書学習センター	館 内 用	1,536	2,210,805	1,439
計		6,750	11,140,559	1,650

⑦ 編入図書

(単位：冊)

区 分		官報製本	雑誌製本	計
県 立 図 書 館	館 内 用	72	1	73
若狭図書学習センター	館 内 用	0	0	0
計		72	1	73

⑧ 生産その他図書

(単位：冊)

区 分		生 産	賠 償	除籍発見	保管転換	計
県 立 図 書 館	館 内 用	10	111	14	929	1,064
	館 外 用	0	2	0	0	2
	視力障がい者用	38	0	0	0	38
	小計	48	113	14	929	1,104
若狭図書学習センター	館 内 用	0	16	0	2	18
計		48	129	14	931	1,122

⑨ 払出図書

(単位：冊)

区 分	汚破損	所在不明	利用者亡失	保管転換	その他	合 計
県 立 図 書 館	720	268	123	481	79	1,671
若狭図書学習センター	7	4	12	21	3	47
計	727	272	135	502	82	1,718

(2) 新聞・雑誌

区 分		新 聞	雑 誌	官報・法規類
県 立 図 書 館	購 入	20 紙 27 部	282 種	2 種
	寄 贈	29 紙 29 部	742 種	—
	計	49 紙	1024 種	2 種
若狭図書学習センター	購 入	13 紙 14 部	140 種	2 種
	寄 贈	5 紙 5 部	116 種	—
	計	18 紙	256 種	2 種

(3) CD-ROM・DVD-ROM

(単位：点)

区 分	元年度末 保有数	2 年 度		2 年 度 末 保有数
		受入数	払出数	
県 立 図 書 館	891	31	0	922
若狭図書学習センター	180	12	0	192
計	1,071	43	0	1,114

(4) マイクロフィルム

(単位：巻)

区 分		元年度末 保有数	2 年 度		2 年 度 末 保有数
			受入数	払出数	
県 立 図 書 館	ネ ガ	2,567	18	0	2,585
	ポ ジ	3,776	24	7	3,793
	小計	6,343	42	7	6,378
若狭図書学習センター	ネ ガ	124	0	0	124
	ポ ジ	822	0	0	822
	小計	946	0	0	946
計	ネ ガ	2,657	18	0	2,709
	ポ ジ	4,565	24	7	4,615
	計	7,222	42	7	7,324

(5) 視聴覚資料

区 分		元年度末 保有数	2 年 度		2 年 度 末 保有数
			受入数	払出数	
若狭図書学習センター	ビデオテープ	1,322 本	0 本	0 本	1,322 本
	16mmフィルム	199 巻	0 巻	0 巻	199 巻
	計	1,521	0	0	1,521

２ サービス業務の概要

（１）利用者サービス

① 開館日数

（単位：日）

区 分	開 館	閉館		
		点検等作業	月曜等	臨時
県立図書館	263	16	57	29
若狭図書学習センター	265	16	57	27

※コロナ27、豪雪2

② 入館者数

（単位：人）

区 分	人数
県立図書館	420,104
若狭図書学習センター	95,473
計	515,577

③ 図書貸出・閲覧数

ア 貸出冊数

（単位：冊）

区 分	個 人	団 体 ※	計
県立図書館	554,354	155,350	709,704
若狭図書学習センター	91,537	14,831	106,368
計	645,891	170,181	816,072

※団体：p.38「(2)市町立図書館等サービス」の「①特別貸出数」「④市町図書館等貸出文庫貸出数」およびp.39「(3)読書普及活動」の「①かたらい文庫貸出数」「③学校巡回図書貸出冊数」を合計した数値。

イ 資料別閲覧点数

区 分	マイクロフィルム	ビデオテープ	計
県立図書館	114 巻	— 本	114
若狭図書学習センター	19	0	19
計	133	0	133

④ 個人貸出

ア 月別貸出冊数

（単位：冊）

月	県立図書館	若狭図書学習センター	計
4	7,745	1,285	9,030
5	40,928	5,789	46,717
6	47,331	7,089	54,420
7	51,791	8,105	59,896
8	56,799	9,702	66,501
9	52,806	8,271	61,077
10	54,335	8,510	62,845
11	52,194	8,526	60,720
12	50,676	8,894	59,570
1	42,066	8,872	50,938
2	47,593	8,570	56,163
3	50,090	7,924	58,014
計	554,354	91,537	645,891

イ 分類別貸出冊数

（単位：冊）

区 分	県立図書館	若狭図書学習センター	計
0 総記	7,656	1,214	8,870
1 哲学	20,990	3,523	24,513
2 歴史	21,369	4,223	25,592
3 社会科学	49,901	6,897	56,798
4 自然科学	30,170	4,751	34,921
5 技術	43,178	5,982	49,160
6 産業	14,627	2,128	16,755
7 芸術	26,926	3,544	30,470
8 言語	7,067	897	7,964
9 文学	121,937	19,072	141,009
外国語	2,209	30	2,239
大活字等	3,338	231	3,569
こども	159,455	30,411	189,866
H 郷土	15,057	1,706	16,763
Z 雑誌	30,474	6,928	37,402
計	554,354	91,537	645,891
1日平均	2,108	345	2,456

⑤ 登録者数

ア 個人および団体登録数

区 分	個 人	うち有効登録者数※	団 体
県 立 図 書 館	149,499 人	28,633 人	1,802 団体
若狭図書学習センター	25,410	4,719	121
計	174,909	33,352	1,923

※令和3年3月末日現在

イ 市町別新規個人登録者数

(単位：人)

市町名	区 分	人数
福井市	県 立	1,616
	センター	1
	計	1,617
敦賀市	県 立	41
	センター	13
	計	54
小浜市	県 立	1
	センター	390
	計	391
大野市	県 立	80
	センター	0
	計	80
勝山市	県 立	66
	センター	0
	計	66
鯖江市	県 立	242
	センター	1
	計	243
あわら市	県 立	62
	センター	1
	計	63
越前市	県 立	136
	センター	1
	計	137
坂井市	県 立	256
	センター	0
	計	256
永平寺町	県 立	139
	センター	0
	計	139
池田町	県 立	8
	センター	0
	計	8

市町名	区 分	人 数
南越前町	県 立	8
	センター	0
	計	8
越前町	県 立	32
	センター	0
	計	32
美浜町	県 立	2
	センター	1
	計	3
高浜町	県 立	0
	センター	12
	計	12
おおい町	県 立	0
	センター	9
	計	9
若狭町	県 立	4
	センター	27
	計	31
県 外	県 立	2
	センター	1
	計	3
合 計	県 立	2,695
	センター	457
	合計	3,152

ウ 年齢別新規個人登録者数

(単位：人)

年齢区分	～6	7～12	13～15	16～18	19～22	23～29	30～39	40～49	50～59	60～	計
県立	220	256	52	295	351	339	384	317	209	272	2,695
	8.2%	9.5%	1.9%	10.9%	13.0%	12.6%	14.2%	11.8%	7.8%	10.1%	－
センター	61	166	8	15	23	50	46	32	21	35	457
	13.3%	36.3%	1.8%	3.3%	5.0%	10.9%	10.1%	7.0%	4.6%	7.7%	－
合計	281	422	60	310	374	389	430	349	230	307	3,152
	8.9%	13.4%	1.9%	9.8%	11.9%	12.3%	13.6%	11.1%	7.3%	9.7%	－

⑥ インターネット予約サービス

ア 登録者数

(単位：人)

区 分	新規登録者数	累 計
県立図書館	1,327	13,075
若狭図書学習センター	52	1,026
計	1,379	14,101

イ 予約冊数

(単位：冊)

区 分	冊数
県立図書館	38,982
うち他館受取冊数	6,047
若狭図書学習センター	9,511
うち他館受取冊数	923

※他館には市町立図書館、大学図書館を含む

⑦ レファレンス

(単位：件)

区 分		文 書	電 話	口 頭	計
県立図書館	一 般	1,244	1,306	6,966	9,516
	郷 土	118	136	1,311	1,565
	こども	6	57	2,798	2,861
	小計	1,368	1,499	11,075	13,942
若狭図書学習センター		1,576	88	1	1,665
計		2,944	1,587	11,076	15,607

⑧ 複写サービス

区 分	件 数	白黒枚数	カラー枚数	金 額
県立図書館	2,487 件	24,462 枚	689 枚	299,740 円
若狭図書学習センター	313	2,877	100	36,770
計	2,800	27,339	789	336,510

⑨ 視力障がい者サービス（県立図書館）

(単位：点)

区 分	個 人	団 体	計
点字図書	34	1	35
録音図書	449	264	713
計	483	265	748

⑩ 視聴覚サービス（若狭図書学習センター）

ア 館内視聴状況

(単位：本)

区 分	閲覧数
ビデオテープ	0

イ 団体貸出状況

区 分	貸出数
D V D	0 本
ビデオテープ	3 本
16mmフィルム	0 巻

⑪ 遠隔地利用者返却サービス 利用状況

(単位：冊)

区 分	市町図書館	大学図書館	Fスクエア	県庁	計
県立図書館	10,507	396	28	310	11,241
若狭図書学習センター	1,640	—	—	—	1,640
計	12,147	396	28	310	12,881

※大学図書館は短大、高専を含む（以下同様）

(2) 市町立図書館等サービス

① 特別貸出数

(単位：冊)

区 分	県内市町立図書館	県内大学図書館	県外図書館	図書館小計	その他団体	計
県立図書館	5,799	343	1,247	7,389	6,667	14,056
若狭図書学習センター	2,870	0	17	2,887	1,120	4,007
計	8,669	343	1,264	10,276	7,787	18,063

・県外図書館への貸出数

(単位：冊)

区 分	石川県内	富山県内	岐阜県内	愛知県内	三重県内	その他県	計
県立図書館	321	395	79	120	5	327	1,247
若狭図書学習センター	7	3	3	2	0	2	17
計	328	398	82	122	5	329	1,264

② 借受資料数

(単位：冊)

区 分	県内市町立図書館	県内大学図書館	県外図書館	計
県立図書館	1,416	141	487	2,044
若狭図書学習センター	548	136	131	815
計	1,964	277	618	2,859

・県外図書館からの借受数

(単位：冊)

区 分	石川県内	富山県内	岐阜県内	愛知県内	三重県内	その他県	国会図書館	計
県立図書館	77	67	140	153	0	36	14	487
若狭図書学習センター	31	14	17	40	2	27	0	131
計	108	81	157	193	2	63	14	618

③ 当館経由の相互貸借数

ア 県内図書館⇄県内図書館 (単位：冊)

区 分	貸出数
市町立⇒市町立	9,374
市町立⇒大学等	343
大学等⇒市町立	421
大学等⇒大学等	68
計	10,206

イ 県内図書館⇄県外図書館

(単位：冊)

区 分	貸出数	借受数
県内市町立⇄石川県立・市町立	449	664
県内市町立⇄富山県立・市町立	217	228
県内市町立⇄岐阜県立・市町立	61	466
県内市町立⇄愛知県立・市町立	187	583
計	914	1,941

④ 市町図書館等貸出文庫 貸出数

(単位：冊)

区 分	県内市町立図書館	その他団体	計
県立図書館	0	1,969	1,969
若狭図書学習センター	—	9,894	9,894
計	0	11,863	11,863

※市町立図書館、学校、保育園、公民館等の団体への長期大量貸出。

(3) 読書普及活動

① かたらい文庫貸出数

区 分	組数	冊数
県 立	211 組	2,110 冊
センター	93	930
計	304	3,040

※ 同一図書を10～15冊1組として編成している
文庫。読書会等のテキストとして貸出

③ 学校巡回図書文庫貸出数

区 分	団体数	冊数
小学校	182 組	103,249 冊
中学校	72	33,966
計	254	137,215

② 福井県読書会連絡協議会加入読書グループ数

市 町	グループ数	市 町	グループ数
福 井	3 団体	永平寺	0 団体
敦 賀	7	池 田	0
小 浜	1	南越前	1
大 野	1	越 前(町)	3
勝 山	1	美 浜	1
鯖 江	1	高 浜	1
あわら	0	おおい	0
越 前(市)	1	若 狭	1
坂 井	4	計	26

(令和3年4月1日現在)

(4) 職場体験・視察等

① 職場体験・研修受入

区 分	団体数	人 数
県 立	0	0 人
センター	0	0
計	0	0

② 総合学習・視察等

区 分	団体数	人 数
県 立	14	700 人
センター	8	211
計	22	911

(5) ボランティア ※資料整理、白川文字学の室受付

区 分	登録者数	延べ活動回数
ボランティア	130 人	1,206 回

(6) フレンドリーバス (単位：人)

区 分	総 数	うち図書館バス停 乗降者数
乗 降 者 数	38,531	24,439
うち高校生以下	1,612	1,156

3 他都道府県立図書館との比較 (令和元年度実績)

[『図書館雑誌2020年8月号』(日本図書館協会発行)を基に作成]

(1) 蔵書冊数

① 蔵書冊数

順位	都道府県名	冊数(千冊)
1	大阪府	2,784
2	東京都	2,653
3	埼玉県	1,573
4	岡山県	1,487
5	滋賀県	1,473
6	千葉県	1,418
7	京都府	1,378
8	福井県	1,342
9	長崎県	1,275
10	神奈川県	1,205

② 人口あたり蔵書冊数

順位	都道府県名	冊数(冊)
1	鳥取県	2.0904
2	福井県	1.7062
3	徳島県	1.5807
4	島根県	1.2841
5	高知県	1.1035
6	和歌山県	1.0877
7	香川県	1.0514
8	大分県	1.0384
9	滋賀県	1.0374
10	佐賀県	1.0370

(2) 個人貸出冊数

①貸出冊数

順位	都道府県名	冊数(千冊)
1	高知県	1,580
2	岡山県	1,369
3	香川県	884
4	福井県	771
5	大阪府	734
6	滋賀県	714
7	宮城県	632
8	徳島県	584
9	和歌山県	581
10	大分県	534

②人口あたり貸出冊数

順位	都道府県名	冊数(冊)
1	高知県	2.2018
2	福井県	0.9799
3	香川県	0.8956
4	徳島県	0.7780
5	岡山県	0.7160
6	鳥取県	0.6470
7	和歌山県	0.6025
8	滋賀県	0.5027
9	大分県	0.4606
10	山梨県	0.4144

(3) 入館者数

①入館者数

順位	都道府県名	人数(千人)
1	高知県	1,028
2	岡山県	959
3	山梨県	913
4	大阪府	852
5	福井県	616
6	鹿児島県	606
7	沖縄県	564
8	奈良県	536
9	岐阜県	515
10	東京都	514

②人口あたり入館者数

順位	都道府県名	人数(人)
1	高知県	1.4334
2	山梨県	1.0964
3	福井県	0.7838
4	徳島県	0.5757
5	岡山県	0.5014
6	香川県	0.4875
7	和歌山県	0.4749
8	奈良県	0.3934
9	大分県	0.3891
10	宮崎県	0.3874

(4) レファレンス件数

①レファレンス件数

順位	都道府県名	件数
1	岡山県	94,317
2	大阪府	93,586
3	東京都	68,719
4	福岡県	49,399
5	山梨県	45,381
6	高知県	38,093
7	埼玉県	34,453
8	愛知県	33,590
9	鹿児島県	29,378
10	京都府	27,668

②人口あたりレファレンス件数

順位	都道府県名	件数
1	山梨県	0.0545
2	高知県	0.0531
3	岡山県	0.0493
4	鳥取県	0.0310
5	福井県	0.0295
6	秋田県	0.0229
7	香川県	0.0204
8	鹿児島県	0.0179
9	和歌山県	0.0167
10	岩手県	0.0166

12	福井県	23,197
----	-----	--------

VI 特別文庫資料

1 資料名

種別	資料名	分類	目録・解題など
所蔵	伊藤家文書	武家史料（福井藩士）	
所蔵	森家文書	村方史料（あわら市）	『石倉家森家文書目録』『福井県史』『細呂木村誌』
所蔵	石倉家文書	村方史料（南越前町）	『石倉家森家文書目録』『福井県史』『南条町誌』
所蔵	坪川家文書	村方史料（福井市）	『坪川家文書目録』『福井市史』
所蔵	布川正沖・正輔文庫	和漢書籍	『奥越史料』 当館ホームページ
所蔵	三田村保正採択「県内有名在銘押形集」	刀剣押形	
寄託	神尾ひがし家文書	村方史料（あわら市）	『坂井郡古文書目録』『細呂木村史』
寄託	波寄区有文書	村方史料（福井市）	『福井市史』
寄託	太田町古文書	村方史料（福井市）	
寄託	坂井家所蔵資料	陸軍特別大演習資料	
寄託	嵯峨家所蔵資料	近代新聞資料	
寄託	小泉家所蔵資料	近代新聞資料	

*令和2年度、八木家文書、越知神社文書、安達仲弥家文書が文書館に寄託先を変更した。

2 利用状況

デジタルアーカイブ福井で画像を公開している資料のうち、著作権保護期間満了のものは令和元年度から「パブリック・ドメイン・マーク」を付与し、申請不要で利用できるように変更した。

申請件数／利用点数

種別	閲覧・撮影	掲載	放映	展示	展示・掲載	合計
件数	3	2	2	1	3	11
点数	17	2	2	1	17	39

（注）閲覧・撮影…調査研究／掲載…論文作成や書籍出版等／放映…番組制作／展示・掲載…博物館等での展示（パネル展示含む）

VII 資料編

1 施設

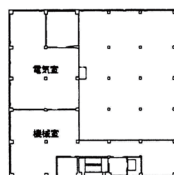
(1) 福井県立図書館

- ① 位 置 福井市下馬町 51—11
- ② 面 積 敷地面積（含駐車場） 70,246 m²
延床面積（図書館部分） 14,297 m²
- ③ 構 造 鉄骨造、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地上 5 階・地下 1 階
- ④ 着工年月日 平成 12 年 11 月 9 日
- ⑤ 開館年月日 平成 15 年 2 月 1 日
- ⑥ 施 設 概 要

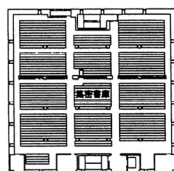
	室 名	面積 (m ²)	席数(席)	備 考
一階	開架エリア (うち子ども室) 多目的ホール 白川文字学の室 対面朗読室 ワークルーム 地域サービス室 閉架書庫 授乳室	4,833 (610) 210 98 11×2 122 195 825 3×2	272	他にスツール、ソファ約 200 席 開架収容能力 30 万冊 閉架書庫(1 階～4 階)収容能力 160 万冊
二階	点訳・録音室 録音準備室 点字録音図書室 閉架書庫	8×2 20 42 895		
三階	閉 架 書 庫	892		
四階	閉 架 書 庫	892		

⑦ 施設使用料 (令和 3 年 4 月 1 日現在)

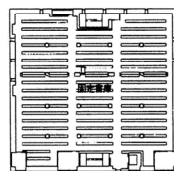
区 分	収容人数	金 額			
		9:00～ 12:00	12:00～ 17:00	9:00～ 17:00	17:00～ 1 時間につき
多目的ホール	200 人	8,070 円	13,620 円	22,000 円	2,720 円



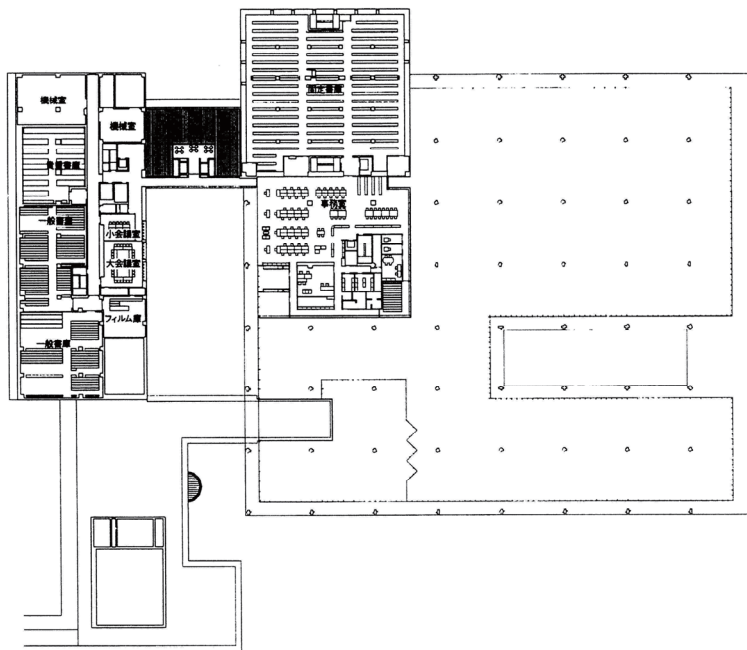
塔屋1階平面



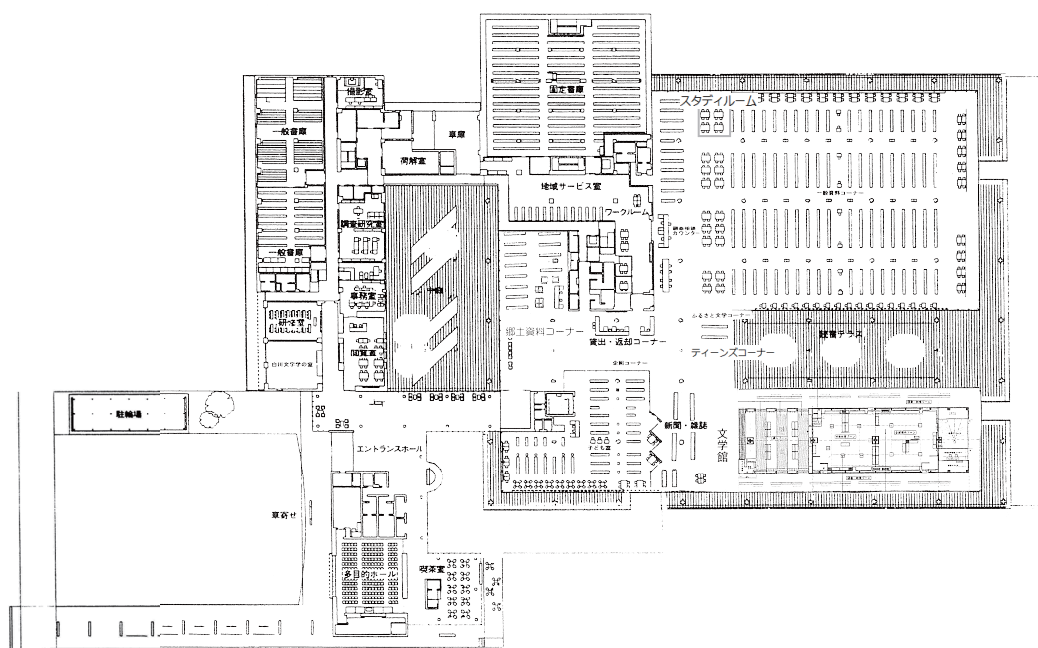
4階・中3階平面



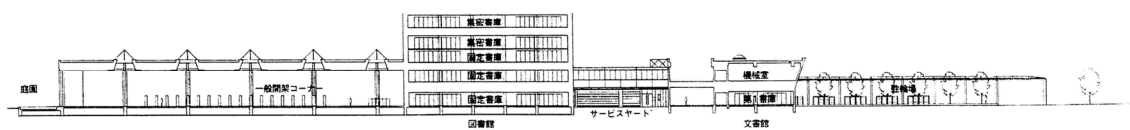
3階平面



2階平面



1階平面



(2) 福井県立若狭図書学習センター (※福井県立図書館分館)

- ① 位 置 小浜市南川町 6-11
 ② 面 積 敷地面積 4,999 m² (含駐車場)
 延床面積 4,697 m²
 ③ 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 2 階
 ④ 着工年月日 昭和 62 年 12 月 10 日
 ⑤ 開館年月日 平成元年 6 月 2 日
 ⑥ 施 設 概 要

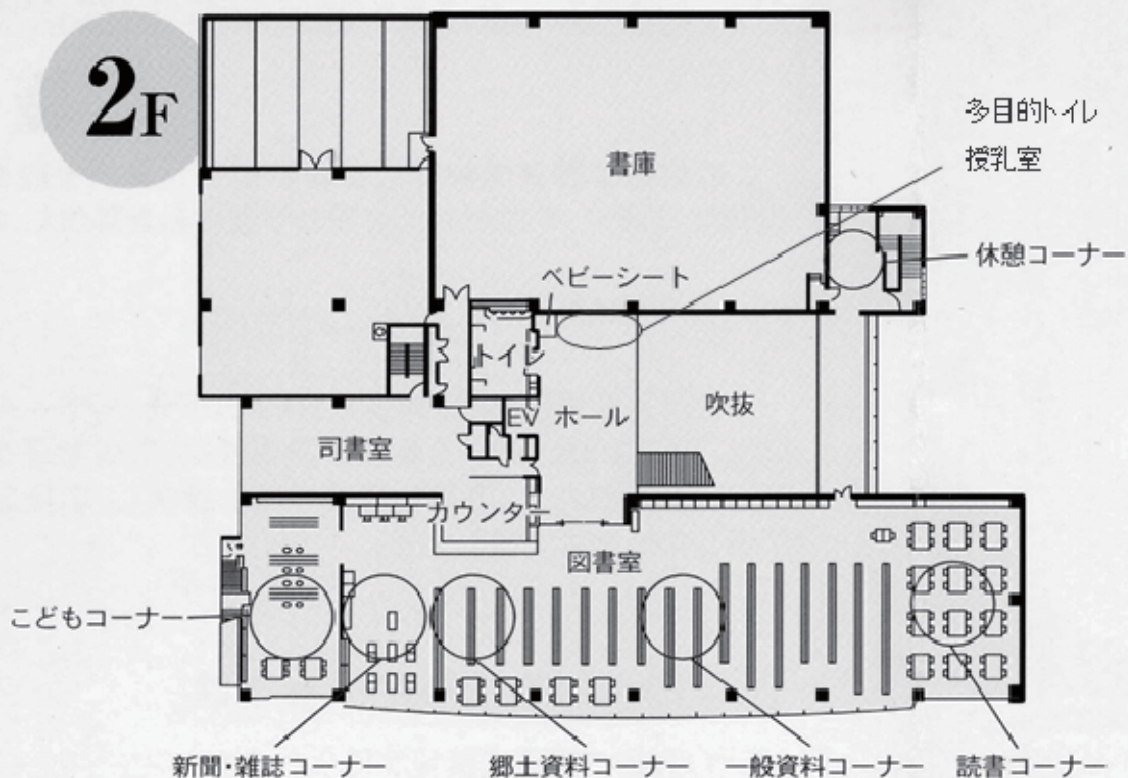
	室 名	面積(m ²)	席数(席)	備 考
一階	多目的ホール	584	—	ビデオ 2 台 収容能力 0.9 万冊
	講堂	204	60	
	研修室	84	40	
	ミーティングルーム	32	—	
	学習情報コーナー	48	24	
	ビデオルーム	27	2	
	第 2 書庫	32	—	
二階	一般資料コーナー	422	24	開架収容能力 9.6 万冊 収容能力 17.2 万冊
	子どもコーナー	110	24	
	郷土資料コーナー	60	8	
	新聞・雑誌コーナー	69	25	
	読書コーナー	180	55	
	書庫	620	—	
	授乳室	3×2	—	

⑦施設使用料 (令和 3 年 4 月 1 日現在)

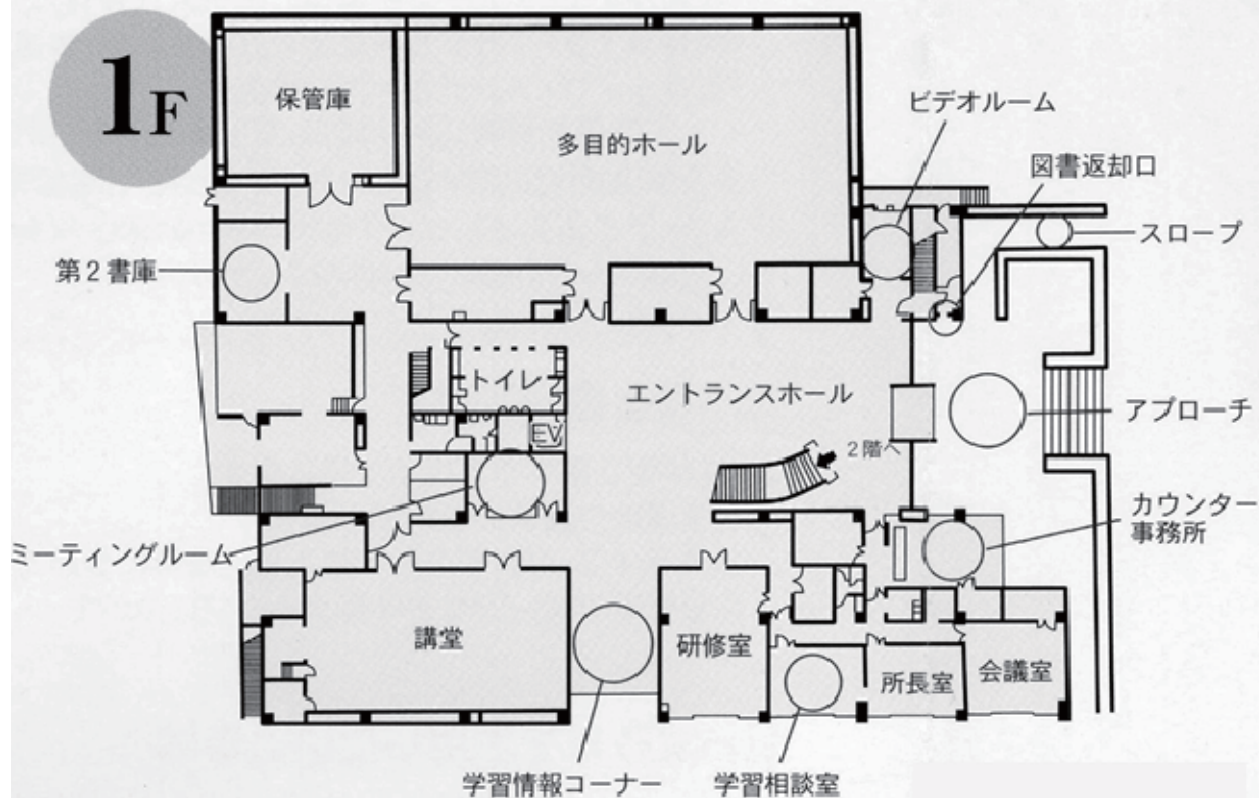
区 分	収容 人数*	金 額			
		9:00～ 12:00	12:00～ 17:00	9:00～ 17:00	17:00～ 1 時間につき
多 目 的 ホ ー ル	288 人	9,220 円	16,760 円	25,150 円	3,150 円
講 堂	60 人	2,720 円	4,190 円	6,810 円	840 円
研 修 室	42 人	1,780 円	2,720 円	4,190 円	520 円

*机使用(2人掛け)の場合

2F



1F



2 開館時間と休館日

(令和3年4月1日現在)

(1) 開館時間

火～金曜日 9:00～19:00
土・日曜日、祝日、特別開館日 9:00～18:00

(2) 休館日

- ① 月曜日（休日に該当する場合を除く。）
 - ② 休日の翌日（土曜日、日曜日、休日または⑤に掲げる日に該当する場合を除く。）
 - ③ 12月28日から翌年の1月4日までの日（②に掲げる日に該当する場合を除く。）
 - ④ 図書点検期間 毎年館長の指定する期間（10日間以内）
 - ⑤ 整理清掃日 毎月（12月を除く）の第4木曜日（休日に該当する場合にあっては、その翌日）
- ※若狭図書学習センターは図書フロアのみ休館（1階生涯学習フロアは 9:00～17:00 開館）

(3) 特別開館日

7月21日から8月25日までの月曜日および祝日の翌日、12月28日、1月4日

3 管内人口と面積

(1) 人口 758,431 人 (令和3年4月1日現在)

(2) 面積 4190.52 k m² (令和3年1月1日現在)

(1):『福井県の人口と世帯』(福井県)

(2):『全国都道府県市区町村別面積調』(国土地理院)より

4 沿 革

年 度	事 項
昭和	名古屋市からの福井震災義捐金 500 万円を基に松平家別邸養浩館跡地（福井市宝永 3 丁目）に県立図書館を建設（8 月着工、3 月 21 日落成式）
24 年度	福井県立図書館設置条例を制定（3 月 29 日）
25 年度	福井県立図書館開館（4 月 1 日） 戦災で焼失した福井市立福井図書館の蔵書 19,799 冊を受託（7 月） 旧福井藩主松平家から文献資料 8,421 点（松平文庫）を受託（10 月）
26 年度	三方郡八村公民館内に八村配本所を設置（4 月）（後に三方配本所に改称、30 年 11 月に三方分館とした）
27 年度	県教育委員会社会教育課と共同で移動図書館「あかね号」を運行（5 月～31 年 3 月） 3 階建ての書庫および附属建物を増設
28 年度	大野公民館内に大野配本所を設置（4 月） 福井県郷土叢書の刊行開始（3 月～40 年 3 月、第 1 集～第 10 集）
29 年度	朝日公民館内に朝日配本所を設置（4 月）
30 年度	福井日米文化室を開設（9 月～34 年 2 月）
32 年度	県原子力ライブラリーを設置（8 月）
33 年度	松平家から第 2 次の文献資料の寄託（3 月）
35 年度	小浜市立図書館内に小浜配本所、今立町立花筐図書館内に今立配本所を設置（4 月） 福井市からの寄託図書 19,799 冊を返還（8 月）
36 年度	敦賀市立図書館内に敦賀配本所、勝山公民館内に勝山配本所、三国町立図書館内に三国配本所をそれぞれ設置（4 月） かたらい文庫設置（5 月）
37 年度	鯖江公民館内に鯖江配本所、丸岡町教育委員会内に丸岡配本所、織田町中央公民館内に織田配本所をそれぞれ設置（4 月）
39 年度	本館規則を全面的に改正し、従来の館外閲覧保証金納付制度を廃止し、その他運営の実態に則して関係条例を整備
40 年度	事務室、貸出図書室、郷土室、成人室等を改装整備し、2 階書庫を開架式書庫として機能充実
43 年度	館内組織を庶務課、整理奉仕課の 2 課制に改正（11 月）
44 年度	金津町中央公民館内に金津配本所、美浜町教育委員会内に美浜配本所、上中町中央公民館内に上中配本所をそれぞれ設置（4 月） 松平家から第 3 次の文献資料の寄託（4 月）
45 年度	松岡町福祉会館内に松岡配本所、芦原町社会福祉センター内に芦原配本所、越廼中央公民館内に越廼配本所、大飯町中央公民館内に大飯配本所、福井市図書館内に福井配本所をそれぞれ設置（4 月） 福井県立図書館創立 20 周年記念式典と記念講演会を福井県教育センターで開催（10 月）
47 年度	武生市立図書館内に武生配本所、越前町公民館内に越前配本所、南条町中央公民館内に南条配本所、高浜町役場内に高浜配本所を設置（4 月） 県視聴覚ライブラリーが県立図書館の附属機関となった
48 年度	館内組織を総務課、奉仕課、振興課、視聴覚ライブラリー室の 3 課 1 室に改正（4 月） 永平寺町開発センター内に永平寺配本所、和泉村役場中竜支所内に和泉配本所、坂井町教育委員会内に坂井配本所、名田庄村開発センター内に名田庄配本所をそれぞれ設置（4 月）
49 年度	美山町教育委員会内に美山配本所、池田町役場内に池田配本所、今庄町公民館内に今庄配本所、宮崎中央公民館内に宮崎配本所を設置（4 月） 福井県立図書館建設調査委員会を設置（7 月、翌年 2 月報告書策定）

年 度	事 項
50 年度	上志比村役場内に上志比配本所、春江町南部公民館内に春江配本所、河野村住民センター内に河野配本所、清水町社会福祉センター内に清水配本所をそれぞれ設置（4 月）し、全市町村でのサービス網を確立
51 年度	知事年頭所信で置県百年記念事業の一環として県立図書館移転を発表（1 月）
52 年度	県立図書館建設プロジェクトチームを設置（5 月）
54 年度	新図書館を起工（10 月） 国際障害者年にちなみ、1 階に点字図書室を設置
55 年度	福井市城東 1 丁目 18-21 に鉄筋コンクリート造地上 3 階、地下（一部）1 階の新図書館が竣工（12 月） 新図書館が開館（3 月 26 日）
56 年度	視聴覚ライブラリー室を点字視聴覚室に改称するとともに、館則を全面的に改正、貸出冊数を 5 冊までにするなど新館運営における奉仕業務を充実（4 月） 点訳・朗読者養成講習会開催（8～12 月）
57 年度	福井市で昭和 57 年度全国図書館大会を開催（10 月）
58 年度	継続利用の貸出期間延長および雑誌の貸出を開始、整理・清掃日の曜日を変更（4 月）
59 年度	全市町村に図書館設置条例が制定されたことに伴い三方分館を廃止し、配本所への新規配本を中止
61 年度	市町村図書館等貸出文庫を設置 配本図書 49,685 冊を各市町村立図書館に譲与（3 月）
63 年度	奉仕課を資料課に、振興課を普及課に改称（4 月）
平成元年度	小浜市南川町 6-11 に若狭分館を開館（6 月 2 日）
2 年度	電算システム導入に備え、全蔵書の点検、バーコード貼付作業を実施 県立、市町村立図書館による福井県公共図書館コンピュータネットワーク研究会発足（6 月） 福井市で平成 2 年度全国公共図書館奉仕部門研究集会を開催（10 月）
3 年度	電算システム導入のための本格的データ入力作業を開始（7 月）
4 年度	電算機種が決定（7 月）
5 年度	国立国会図書館から土屋紀義氏を館長に迎えた（4 月～8 年 3 月）。 電算システム開発、データ登録、電算関連機器設置を実施 「福井県立図書館の将来計画（試案）」を作成（12 月）
6 年度	電算システム稼働、貸出冊数を 10 冊に拡大（4 月） 蔵書計画策定 「福井県公共図書館振興方策」を策定（2 月）
7 年度	館内組織を管理室に統合し、企画班、資料班、サービス班を設置（5 月） 視聴覚ライブラリーを生活学習館に移管（5 月） 若狭分館に生涯学習機能を加え、福井県立若狭図書学習センターと改称（10 月） 「福井県立図書館基本計画」を策定（3 月）
8 年度	国立国会図書館から米村隆二氏を館長に迎えた（4 月～10 年 3 月） 新県立図書館の建設地が福井市下馬町・小稲津町に決定（9 月）
9 年度	「県立図書館・県立公文書館（仮称）基本設計検討会議」を設置（10 月） 「県立図書館・県立公文書館（仮称）基本設計」を策定（3 月）
10 年度	「県立図書館・県立公文書館（仮称）実施設計」に着手（4 月） 「福井県立図書館新情報システム基本計画」を策定（6 月） 浙江図書館（中華人民共和国浙江省杭州市）の新館開館式に館長ほか 3 名が出席し、これを機に福井県立図書館・浙江図書館姉妹図書館協定を締結（12 月） 「県立図書館・県立公文書館（仮称）実施設計」を完了（3 月）

年 度	事 項
11 年度	「福井県立図書館新情報システム」を構築する業者を選定（10 月） 浙江図書館との資料交換を開始、館内に「浙江文庫」を設置（11 月） また、職員交流として浙江図書館職員 2 名が県立図書館で研修（2 月～3 月） 「福井県立図書館新情報システム基本設計書」を策定（3 月）
12 年度	県立図書館内に建設班を設置（10 月） 新県立図書館・県立公文書館（仮称）の起工式（11 月） 浙江図書館との職員交流として同館に県立図書館職員 2 名を 1 ヶ月間派遣（2～3 月） 平成 12 年の「子ども読書年」を契機に、福井県子どもの読書活動推進ネットワークを構築（2 月） 福井県立図書館新情報システム詳細設計書を策定（3 月）
13 年度	浙江図書館との職員交流として同館職員 2 名が、1 ヶ月間県立図書館で研修（11 月）
14 年度	管理室を利用サービス室に改称し、総合調整班、建設班、サービス班、郷土・環日本海班を設置（4 月） 福井市下馬町 51-11 に現在の新県立図書館を竣工（9 月） 新館移転、開館準備のため休館（9 月～1 月） 新館勤務開始（12 月 2 日） 建設班を廃止（1 月 31 日） 新県立図書館が開館（2 月 1 日）県内公共図書館横断検索システム、インターネット予約サービス、宅配便による県内公共図書館への資料搬送を開始（2 月）
15 年度	総合調整班、企画班、サービス班、郷土・環日本海班を設置（6 月） 第 3 日曜日を開館とする（6 月） 火曜日から金曜日の開館時間を 1 時間延長（9 月） 国民の祝日を開館（1 月） 浙江図書館との職員交流として同館に県立図書館職員 2 名を 2 週間派遣（3 月）
16 年度	企画調整班、サービス班、郷土・環日本海班を設置（4 月） 福井県立図書館ボランティアが活動を開始（4 月） 福井県立図書館運営懇話会を設置（7 月） 夏休み期間（7/21～8/31）に月曜日の特別開館を開始 新館開館以来の入館者 100 万人突破（9 月 12 日）『常用字解』を 100 人に贈呈 フレンドリーバスの本格運行を開始（11 月） 福井市で平成 16 年度全国公共図書館児童・青少年部門研究集会を開催（11 月） まちなかキッズルーム（授乳室）を増設（3 月）
17 年度	「産業支援コーナー」、「白川文字学の室」を開設（4 月） 富山、石川、福井の 3 県立図書館で相互貸借に関する協定を締結し、週 2 回の定期便を運行開始（4 月） 「議事之体大意」取得を記念し、特別記念展「五箇条の御誓文と由利公正」を県立図書館および若狭図書学習センター両館で開催（8 月～9 月）
18 年度	郷土文学コーナーを拡充し「ふるさと文学コーナー」を開設（4 月） 県内市町立図書館 15 館を対象に「福井県立図書館遠隔地利用者返却サービス」を本格実施（4 月） 特別展「杉田玄白と解体新書 ―近代への扉を開いた蘭学の開拓者―」を県立、若狭両館で開催（7 月～9 月） 「福井県立図書館遠隔地利用者返却サービス」の対象が福井市・小浜市以外の全市町立図書館に拡大（1 月）
19 年度	特別展「歴史資料の宝庫 松平文庫への誘い」を県立、若狭両館で開催（7 月～9 月） 福井大学附属図書館と相互協力協定を締結し、相互貸借を開始（10 月）福井大学附

年 度	事 項
20 年度	属図書館と市町立図書館との相互貸借を開始（11 月） フレンドリーバスが 2 ルートでの運行を開始（2 月） 新館開館以来の入館者が 300 万人突破（2 月 23 日）を記念し特製バックを作成、公開抽選会を開催（3 月） 「特定資料コーナー」に「ビジネス支援」「法律情報」「医療情報」の 3 コーナーを新設（7 月） 図書館情報システムを更新、デジタルアーカイブの公開、携帯電話サービスを開始（7 月）
21 年度	県内高等教育機関（福井県立大学、福井工業大学、仁愛大学、仁愛女子短期大学、敦賀短期大学、福井医療短期大学、福井工業高等専門学校の計 7 校）と相互協力協定を締結し（12 月）、相互貸借を開始（1 月） 企画調整班、サービス班、資料管理班、郷土・環日本海班を設置（4 月） 蔵書の増加による収容スペースの矮小化に伴う拡張整備のため、書庫棟 4 階に約 44 万冊分の集密書架を設置し（10 月）、運用を開始（12 月） 中高生を対象とした「ティーンズコーナー」を開設（1 月） 住民基本台帳カードを利用した貸出開始（3 月）
22 年度	岐阜県図書館と相互貸借に関する協定書を締結し（3 月）、翌月より週 1 回の定期便を運行開始 国民読書年記念事業として、各種関連行事を開催（4 月～12 月） 県内公共図書館で「行こうよ！読もうよ！図書館利用キャンペーン」を実施 「白川文字学の室」内に白川静博士の書斎を復元・公開（12 月） メールマガジン配信開始（3 月）
23 年度	平成 22 年度の入館者数及び個人貸出冊数が共に県人口比で全国 1 位となる Twitter、Facebook 開始（5 月） 新館開館以来の入館者が 500 万人突破（10 月 23 日）特製ブックマーカーを作成 「特定資料コーナー」の「法律情報」「医療情報」を一般資料コーナーに移設し、就職支援資料を中心とした「ビジネス支援」、「統計・白書」「新書」を配置（3 月）
24 年度	福井県立図書館の貸出返却カウンター業務を委託開始（4 月） 新館移転開館 10 周年（2 月 1 日）を迎えるにあたり、各種記念事業を開催（11 月～3 月）
25 年度	闘病記と病院・薬や食品栄養等の分野の資料・雑誌を配置した「医療健康コーナー」、「文庫コーナー」を新設、「新書コーナー」を移設 図書館情報システムを更新し図書館・文書館システムとして運用開始（2 月） 文学館開設準備に伴い閲覧室の書架移設等リニューアルを実施（2 月）
26 年度	パソコン専用席を廃止。閲覧席のうち 52 席を共用席とし、公衆無線 LAN を導入 郷土・環日本海班を郷土資料班に変更（4 月） 館内に、福井県ふるさと文学館開設（2 月 1 日）
27 年度	敦賀市立看護大学附属図書館との相互協力に関する協定書を締結（2 月） 愛知県図書館と相互貸借の推進に関する協定書を締結し（6 月）、翌月より週 1 回の定期便を運行開始 ティーンズコーナーに「ふくいの学校コーナー」を新設（7 月）
28 年度	新館開館以来の入館者数が 700 万人突破（9 月 29 日）特製越前和紙ブックカバーを贈呈 フレンドリーバスが、新ルートでの運行開始（3 月） 子ども読書推進のため「選定図書学校巡回事業」を開始（6 月） 医療健康コーナーに「診療ガイドラインコーナー」を開設（9 月） 白川文字学の室リニューアルオープン（10 月 21 日）

29 年度	一般資料コーナー内に「いきいきライフ応援コーナー」を開設（12 月） 福井医療大学図書館と福井県立図書館の相互協力に関する協定書を締結（4 月） F スクエアに「本の返却ポスト」を設置（7 月） 県内大学・短大・高専図書館 9 館で返却サービスを開始（9 月） 県庁に「本の返却ポスト」を設置（10 月） 新館開館以来の入館者数が 800 万人突破（10 月 9 日）、特製しおりルーペを贈呈 図書館・文書館開館 15 周年、ふるさと文学館開館 3 周年記念事業を開催（1～2 月） 豪雪により、本館は閉館時刻を繰り上げ（2 月 7～9 日 17 時閉館）、臨時休館（2 月 12 日）、フレンドリーバスを運休（2 月 6～15 日）、一部ルートを変更し運行（2 月 16～27 日）
30 年度	台風のため、9 月 4 日を臨時休館、9 月 30 日を 14 時閉館 第 73 回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）で来県された寛仁親王妃殿下が、白川文字学の室を訪問（10 月 6 日） 一般資料コーナーに「学校教育応援コーナー」を設置（11 月 9 日） 一般資料コーナーにスタディールームを設置（3 月～令和 3 年 3 月） システム更新のため、3 月 18 日～31 日を臨時休館。但し、文書館（システムを利用 しての文書館目録の検索は不可）、白川文字学の室、多目的ホール、研修室は 3 月 26 日～31 日を利用可能とし、新聞閲覧等の便宜を図った 住民基本台帳カードを図書館利用カードとして使用できるサービスを終了（3 月） フレンドリーバス 1 台をノンステップバスに更新（3 月）
令和元年度	図書館情報システムを更新し、図書館・文書館・ふるさと文学館情報システムとして運用 開始（4 月） 班をグループに改称し、企画調整グループ、サービスグループ、資料管理グループ、郷 土資料グループを設置（6 月） 若狭図書学習センター開館 30 周年（6 月 2 日）にあたり、各種記念事業を開催 台風のため、10 月 12 日を 12 時閉館、10 月 12～13 日の行事を中止（10 月） 松平文庫を県文書館に移管（11 月）
2 年度	新型コロナウイルス感染症対策のため、3 月 28 日～29 日を臨時休館（3 月） 新型コロナウイルス感染症対策のため、4 月 4 日～5 月 10 日を臨時休館、開館時間を 短縮（5 月 11～31 日 17 時閉館、6 月 2～18 日 18 時閉館）、フレンドリーバス運休（4 月 4 日～5 月 10 日）、増便（5 月 23 日～8 月 24 日） マイナンバーカードを図書館利用カードとして使用できるサービスを開始（7 月） 一般閲覧室内に「読書バリアフリーコーナー」を設置（11 月） 豪雪により、本館は臨時休館および開館時間を短縮（1 月 8 日 18 時閉館、9 日 10 時 開館 15 時閉館、10～11 日臨時休館、13～15 日 17 時閉館）、フレンドリーバスを運休 （1 月 9～15 日） 押印廃止等、図書館規則・規程等を全面的に改正（3 月） 「おはなしの部屋」の扉を撤去、Box in box を移設し Display boxes として使用開始 （3 月）

5 関係団体

(1) 福井県立図書館運営懇話会

① 令和2年度委員

役 職 名	氏 名	所 属 役 職 名
会 長	勝 木 健 俊	福井商工会議所常議員
副 会 長	田 中 求 之	福井県立大学准教授
委 員	北 出 慎 吾	北出経営労務事務所代表取締役
〃	佐 藤 実紀代	ホシド店主
〃	塩 出 周 子	福井県読書会連絡協議会会長
〃	内 藤 徳 博	福井県図書館協会副会長（池田町立図書館長）
〃	前 田 由美子	小教研学校図書館部会二州ブロック部長（美浜西小学校教頭）
〃	松 田 三 代	企業組合ファームまあま喜ね舎副代表
〃	山 澤 弘 幸	福井県PTA連合会広報委員長

② 懇話会開催日

令和2年10月20日（火）、令和3年3月9日（火）

(2) 福井県図書館協会

① 令和2年度役員

役 職 名	氏 名	所 属 役 職 名
会 長	山 元 清 隆	福井県立図書館長
副 会 長	内 藤 徳 博	池田町立図書館長
〃	畑 矢 雅 理	福井県視覚障害者福祉協会情報提供センター長
〃	島 田 芳 秀	福井県学校図書館協議会長（丸岡高等学校長）
理 事	山 田 尚 子	坂井市立図書館統括館長
〃	中 嶋 誠 一	鯖江市図書館長
〃	田 淵 孝 章	高浜町中央図書館長
〃	末 信 一 朗	福井大学附属図書館長
監 事	乾 孝 子	大野市図書館長
〃	澤 谷 欣 弘	小浜市立図書館長
常任幹事	姫 川 祐 一	福井県立図書館副館長
〃	高 村 美由紀	〃 総括司書
〃	竹 内 嘉 和	若狭図書学習センター所長
幹 事	松 井 一 代	福井県立図書館主任
〃	芹 川 悦 子	〃 主任

② 令和2年度事業

ア 総 会

令和2年6月（書面開催）

イ 福井県図書館関係職員研修会

令和2年11月18日（水）

テーマ：「好奇心のひろがる棚に！サインと配架を工夫する」

講 師：中川卓美氏（元愛荘町立図書館職員）

参加者：59名

ウ 協会報「お泉水」

No.51 発行

(3) 福井県読書会連絡協議会

① 令和2年度役員

役 職 名	氏 名	グループ・所属名
会 長	塩 出 周 子	古谷・吉沢文庫を読む会 (坂井市)
副 会 長	古 谷 義 次	若 狭 読 書 会 (小浜市)
〃	吉 水 祥 子	華 昇 の 会 (敦賀市)
理 事	兄 父 由 紀 子	え が り て 読 書 会 (福井市)
〃	堤 和 代	越 前 町 立 図 書 館
〃	渡 辺 直 史	美 浜 町 立 図 書 館
〃	渡 邊 景 子	坂 井 市 立 丸 岡 図 書 館
監 事	五十嵐よしゑ	和 田 た ん ぼ ぼ 読 書 会 (福井市)
〃	為 沢 さ ち 子	く ろ つ ち 読 書 会 (越前市)
顧 問	山 元 清 隆	福 井 県 立 図 書 館
事 務 局	姫 川 祐 一	〃
〃	山 下 三 奈	〃
〃	芹 川 悦 子	〃

② 令和2年度事業

ア 理事会

令和2年5月 (書面開催)、令和3年3月18日 (木)

(4) 福井県郷土誌懇談会

① 令和2年度役員

役 職 名	氏 名	備 考
理 事 代 表	山 元 清 隆	県立図書館長
理 事	岡 田 健 彦 加 藤 守 男 金 田 久 璋 高 村 美 由 紀 田 中 美 智 子 中 島 嘉 文 牧 野 行 治 柳 沢 芙 美 子	
会 計 監 査	角 平 野 明 浩 俊 幸	
出版事業編集委員	角 金 田 明 浩 中 島 久 璋 本 川 嘉 文 柳 沢 幹 男 芙 美 子	会計兼務 理事兼務 理事兼務 理事兼務
幹 事	姫 川 祐 一 前 田 眞 佐 子 長 野 栄 俊	

② 令和2年度事業

ア 理事会・総会

理事会 令和2年7月（書面開催）

総会 令和2年8月（書面開催）

イ 講演会

令和2年9月13日（日）

演題 “春嶽政権”と家臣たち～長谷部甚平と由利公正を中心に～

講師 本川幹男氏（地域史研究者）

参加者 56名

ウ 機関誌『若越郷土研究』

第65巻1、2号発行

6 生涯学習事業（若狭図書学習センター）

（１）福井ライフ・アカデミー事業

① ふるさと未来講座

「芸術・文化」

内 容	期 日	講 師
アマビエよ、君はいったい何者だ？	8/1(土)	長野栄俊氏（福井県文書館主任）
組屋の抱瘡神からみる人々の祈り ～江戸時代に大ヒットしたお札～	8/29(土)	川股寛享氏（小浜市教育委員会文化課学芸員）

「自然科学」

内 容	期 日	講 師
北極に生きる道を見つけて	11/3(火・祝)	山崎哲秀氏（一社）アバンナット北極プロジェクト代表理事・犬ぞり北極探検家）
魅力再発見 南川！ ～流域一体の南川未来プロジェクト～	11/29(日)	田原大輔氏（福井県立大学海洋生物資源学部教授）

「現代社会」

内 容	期 日	講 師
ギザギザ湾・美化美化計画 ～若狭湾の海ごみと向き合っ、見えてきたこと～	10/24(土)	西野ひかる氏（アノミアーナ代表）
ウォーキング教室 ～ウォーキングでコロナウイルスを乗り切ろう！～	3/7(日)	福井県ウォーキング協会、吉田清氏（会長）、藤本誠一氏（理事）

「地域づくり」

内 容	期 日	講 師
医療・福祉の専門職が運営する カフェからはじまる健康なまちづくり～コミュニティナースがつむぐ地域のつながり～	1/23(土)	まあるカフェ（福井市灯明寺3）、西出真悟氏（社会福祉士・代表）、加藤瑞穂氏（コミュニティナース・店員）
「どうする!?町内会」 ～これからの地域運営を考える～	2/20(土)	内山秀樹氏（仁愛女子短期大学生活科学学科生活デザイン専攻教授）

② ふるさと探究講座

内 容	期 日	講 師
小濱西組 ～西組の湧水と伝統建築を学ぶ～	3/20(土)	馬場淳子氏（大師湯／KOBO 主宰）、村松利樹氏（村松建築社長）、村松哲哉氏（小浜西組町並み協議会建築委員長）、前田功氏（大師湯／OFFROW 店長）
今庄宿と鉄道遺産（旧北陸線トンネル群） ～人の流れを見てきた町で学ぶ～	3/21(日)	高谷皓之氏（南越前町今庄観光ボランティアガイド協会会長）

（２）学習グループの作品展・活動発表

	内 容	参加協力団体数
2/24(水) ～3/13(土)	学習グループ活動展・作品展（若狭読書会・若狭歌人集会）	1 団体
3/14(日)	学習グループ活動発表（ミュージックフレンズ）	3 団体

福井県ふるさと文学館

目 次

I	令和3年度事業概要	
1	運営基本方針	1
2	組織・事務分掌・職員構成	4
3	当初予算	5
II	令和2年度事業概要	
1	主な取組	6
2	刊行物	7
3	運営費状況（決算）	7
III	行事实施状況	
1	展示事業	9
2	教育普及事業	11
3	他館との連携	13
IV	統計	
1	貴重資料等の整備概況	15
	（1）貴重資料収集状況 （2）受入資料内訳 （3）主な新収蔵資料	
	（4）映像資料等の整備状況	
2	利用状況	16
	（1）企画展観覧者数 （2）利用者数	
	（3）職場体験・研修・見学の受入	
V	資料編	
1	文学館概要	17
2	沿革	18
3	風花随筆文学賞	19
	（1）事業内容 （2）実行委員会 （3）令和2年度理事	

I 令和3年度事業概要

1 令和3年度運営基本方針

ふるさと文学館は、令和元年度に新たに策定された福井県教育振興基本計画等を踏まえ、文学を中心とした幅広い活動が可能な施設として、県立図書館、県文書館をはじめとした県内外の関係機関と連携しながら、多くの人たちがふるさと文学に親しみ、文学を楽しむことができるよう、以下の取組を進めます。

(1) 資料の収集・整理、調査・研究

県民の情報拠点として、資料の収集・保存およびインターネットによる情報提供などを進めます。

① 資料の調査・収集と整理

- ・福井ゆかり作家や作家の家族、全国文学館、古書店等と連携し、資料の情報提供や総合的な資料収集に努めます。

② 情報提供と活用

- ・自館所蔵資料の分類、整理、デジタル化を進め、資料情報を図書館、文書館と統合したシステムで検索できるように整備します。
- ・これまで未展示の資料をプロログゾーンなどで紹介し、自館所蔵資料の活用機会を増やします。

(2) 文学の魅力の発信

福井ゆかり作家の自筆原稿や愛用品など貴重な資料を展示し、多くの人たちが広く文学者や文学作品に親しむ機会を提供します。

① 全国文学館等と連携した展示

- ・おしどり文学館協定を結んでいる吉村昭記念文学館や、全国文学館協議会との連携を図り、福井にいながらにして県外の様々な文学・作家に触れる機会を提供します。
- ・他の文学館で開催された巡回企画等を調査・誘致し、多彩な展示を行う準備を進めます。
- ・県内文芸創作グループ等との連携企画を行い、創作活動や利用者同士の交流促進の場を提供します。

② 多彩な資料を用いた展示

- ・絵本や原画、写真など子どもから大人まで家族で楽しめる展示をきっかけとして、多くの人の来館を促進します。
- ・映像、音声資料を効果的に使い、展示室だけでなく、ホームページを活用して来館しなくても福井ゆかりの作家や福井を舞台とする作品を身近に感じられ

る展示を行います。

- ・小中学生向けの展示や資料作成、高校と連携したイベント、大学生イベント企画の参画などを通し、文学館への新たな関心を喚起します。

(3) 文学活動や交流の支援

多くの人たちが福井ゆかりの作家や文学などについて、広く深く知り、携わることができるよう、講演会や文芸創作講座などの活動を進めます。

① 図書館、文書館との三館連携

- ・三館が持つ特徴を生かした統一テーマでの展示を行い、相互に利用者の循環を図ります。
- ・文学関係団体と連携し、三館の機能・設備を活用したイベントを実施します。

② 講演会、文学ゼミ

- ・著名作家や福井ゆかりの作家による講演会や文芸創作講座、映画上映会など文学に関する多様なイベントを開催します。
- ・文芸誌の現役編集者による小説家養成講座を行い、作家を志す若者の執筆活動を支援します。

③ 情報発信

- ・HP、メルマガ、SNSなどのネットワークツールを活用し、幅広い利用者への情報発信に努めます。
- ・子ども向けパンフレットやワークシートなどを製作し、児童生徒が利用しやすい環境を整備します。

取組と達成目標 -ふるさと文学館-

項 目	現 場	挑 戦	協 働	創意工夫	効率化
① 資料の収集・整理、調査・研究	○貴重資料、映像資料の収集、整理 ○所蔵資料のデジタル化 ○レファレンス対応 ○アーカイブ目録公開準備 ●資料購入・受入 (R2:3,384点) ●資料デジタル化 (R2:345点) ●レファレンス対応 (R2:10回) ●アーカイブ目録公開件数 100件	○映像・音声資料の公開準備 ○収蔵資料の取扱区分検討 ●著作権調査資料 5点 ●資料取扱区分の設定	○公共機関(市町等)が持つ有用資料の把握 ●資料調査 2回	○未展示資料や映像・音声資料の積極的な活用 ●プロローグゾーンで未展示資料を展示 10点 ●映像・音声資料のピックアップ紹介 5点	○映像資料の有効活用 ○福井ゆかり作家資料の最新情報の把握 ●映像資料リストの作成 ●YouTube リンク促進 ●全国文学館への資料情報提供依頼 1回
	●展覧会 14回 (企画展2回、新収蔵展1回、特集展示9回、常設展示2回) ●福井ゆかりの作家の企画展の開催 ●大型巡回展の実施 ●県外の作家作品展示 2回 ●子ども向けツール作成 2件	●おしどり文学館協定展示 1回 ●全国文学館協議会連携展示 1回 ●図書館内カフェとのコラボ企画 2回 ●文学の小路での文芸作品展 6回 ●山岳関係団体との連携企画 1回	●他館巡回展調査 2回 ●ホームページ上のデジタル展示、QRコードを用いた展示ガイド、サブカルチャーなどの利用 ●音声ガイド(わかりやすい案内表示)の作成 8本	●他館保有展示パネルの調査 2回 ●再利用を見越した展示パネル等の制作	
② 文学活動や文 流の支援	○著名作家、福井ゆかり作家等の講演会 ○作家を志す若者への支援 ○SNS等を活用した展示・イベント情報発信 ○風花随筆文学賞の円滑な運営 ●講演会等 18回 ●文学ゼミ参加人数 のべ129人 ●SNS投稿回数 130回 ●ツイッターによる情報発信 100回	○PR先の開拓(若年向け) ○ポスター等デザイナーへの制作委託 ●新たなPR先の検討 ●ポスター等のデザインの見直し	○学校との連携企画 ○三館が連携しての企画の実施 ●学校との連携展示 1回 ●三館の統一テーマによる展示 2回 ●若狭図書学習センターでの出張展示	○児童生徒の来館促進 ○デジタルサイネージの活用 ●文学ファイル(子ども編)作成 ●サイネージ映像の更新 4回	○来館者志向、ニーズの把握 ○効果的な広報の実施 ●利用者アンケート結果の分析、活用、実施に向けた検討 ●広報物の配布計画の作成

※上段は取組項目、下段は目標 (実績) ゴシック体は令和3年度の新規項目

2 組織・事務分掌・職員構成

(令和3年4月1日現在)

(附置機関)

館 長 (事務)	・文学館事業の総括 ・職員の人事、服務の管理 ・施設の維持管理 ・諸規定の制定・改廃	特別館長（津村節子）	主任（司書） ・資料発注、寄贈依頼・受入・経理 ・資料管理・運用・整理 ・デジタルアーカイブ ・おしどり文学館協定 主任（教員） ・教育普及活動 ・学校との連携 ・広報（ホームページ、ブログ、館報等） ・ふくい風花随筆文学賞 主任（学芸員） ・企画展 ・貴重資料の収集、複製作成、資料補修 ・資料評価会議 ・おしどり文学館協定 主査（学芸員） ・企画展 ・映像資料の収集 ・音声ガイド ・文学ファイル作成 会計年度任用職員（学芸員） ・プロログゾーン ・教育普及活動の補助 主任、主事（事務、図書館兼務） ・予算、歳出、決算
---------------------	---	-------------------	---

	人 数	うち 学芸員	うち 司 書	うち 教 員
館 長	1			
主 任	3	1	1	1
主 査	1	1		
会計年度 任用職員	1	1		
計	6	3	1	1

兼務（図書館企画調整グループ）

主 任	1
主 事	1

3 令和3年度当初予算

費 目	金 額 (千円)	事 業 概 要
資 料 整 備 費	6,387	原稿等資料購入 映像使用料 委託（複製作成、補修、デジタル化等）
展 示 事 業 費	11,788	通信運搬（美専車） 委託（展示造作、デザイン等） 使用、賃借料
調 査 研 究 費	195	研修旅費 資料調査謝礼
教 育 普 及 費	4,347	講演会・文学ゼミ・文学講座・出前講座・文学フェスタ 講師謝礼・旅費 舞台設営経費等
ふるさと文学館利用拡大事業	353	音声ガイド収録・配信 おしどり文学館事業
管 理 運 営 費	11,275	報償費（特別館長、資料評価会議等） 受付業務委託 展示設備等メンテナンス
計	34,345	

Ⅱ 令和２年度事業概要

１ 令和２年度の主な取組

（１）コロナ禍における文学館活動

令和２年４月３日より５月１０日まで臨時休館し、５月１１日から開館するが、６月１９日まで、１７～１８時閉館とした。図書館正面玄関での消毒・記名のほか、文学館前にも消毒液を設置し、定期的な換気を行った。展示では、ソーシャルディスタンスを保てるレイアウト配置とし、来館しなくてもホームページ上などで楽しめるデジタル展示を充実させた。教育普及活動では、講演会等の定員を減らし、状況に応じて、中止、延期、リモートの活用を検討し実施した。

（２）展示事業の充実

企画展ゾーンにおいて、当初夏季企画展として予定していた「福井の山と文学」を中止し、５月からのコレクション展「没後３０年則武三雄展」を展示替えをしながら９月まで延長して開催した。秋季企画展は「石川九楊の世界一書という文学への旅―」として、プロログゾーン、代表作家ゾーンにも拡大して大型の展示を開催した。コロナ禍ではあったが、県内外から１万５千人を超える来場者があった。中止となった「福井の山と文学」展は、デジタル展示として、ホームページ上で資料の紹介、インタビュー、動画を公開した。全国文学館協議会共同展示は、「3.11 文学館からのメッセージ～東日本大震災から１０年、福井地震から７３年、災害を見つめる～」と題して、日本近代文学館より借用した作家の自筆資料を中心に展示した。

プロログゾーンにおいて、特集展示６回、タイムリースポット３回を開催し、観覧者数は、４６，８８３人となった。図書ゾーンのギャラリー文学の小路では、各種文化・文芸団体や学校等との連携により１２回の展示を行い作品発表の場として活用された。

（３）教育普及事業の開催

作家講演会は、石川九楊氏による「書という文学への旅」のみの開催となり、他は新型コロナウイルス感染拡大のため延期、中止となった。文学講座は、「かこさとし～フリーハンドで描くふるさとの風景～」の谷出千代子氏など県内講師を迎えたり、大本泉氏の「福井をめぐる作家と文学」ではリモート講義とするなどして、６回開催した。文章講座は２回、創作講座は１回開催した。その他、文学フェスタでも、感染対策を講じながらも、県内の同人誌グループの交流の場となるとともに、文学キネマやカフェと連携した文学ランチ等で文学に親しむ機会となった。

また、県内高校に講師を派遣するオーサートークでは、福井が舞台の『2.43 清陰高校男子バレー部』の原作者 壁井ユカコ氏がリモートで２校に対して講演を行った。各教室を回線でつなぐことで、１，３００人以上の生徒が同時視聴し大変好評であった。

（４）資料収集・保存・公開

朝井閑右衛門画「詩人・三好達治像」（絵画）、石川九楊「罪と罰 ラスコリニコフ」（書）、山崎朋子「サンダカン八番娼館」（原稿）などの購入のほか、「没後３０年則武三雄展」開催を機に県内から相次いで三好達治、則武三雄等の愛用品や書などの寄贈を受けた。また、秋季企画展「石川九楊の世界一書という文学への旅―」にて展示した資料の中から、『河東碧梧桐―表現の永続革命』等の原稿の寄託、『近代書史』の校正原稿や著書、装丁本の寄贈を受けた。

(５) おしどり文学館協定記念事業の開催

当館では、協定記念展示「吉村昭と医」を開催する一方、荒川区吉村昭記念文学館では、トピック展示「吉村昭が描いた天狗党―「動く牙」と「天狗争乱」福井の旅―」を開催した。コロナ感染拡大のため両館の訪問はできなかったが、リモート会議を開催し、活動状況など荒川区職員との情報交換を行って交流を深めた。

２ 刊行物

(１) 文学ファイル

タイトル	発行日	部数	備考
森田愛子	令和３年３月	5,000部	A5判

(２) 図録

タイトル	発行日	部数	備考
九楊読本 石川九楊の世界	令和２年１０月２３日	1,000部	A5判

(３) 広報誌

タイトル	発行日	部数	備考
福井県ふるさと文学館報 第７号	令和３年３月３１日	1,500部	年刊、A5判
ふるさと文学館ふくい No. 36～45	令和２年４月～令和３年 ３月	毎月 2,000部	月刊～隔月刊、 A4判

(４) 作品集

タイトル	発行日	部数	備考
ふくい文学ゼミ 五期生作品集 (令和元年度受講生)	令和２年１０月１３日	500部	A5判

３ 運営費状況（令和２年度決算）

費 目	金 額 (千円)	事 業 概 要
資 料 整 備 費	6,583	原稿等資料購入 映像使用料 委託（複製作成、補修、デジタル化等）
展 示 事 業 費	11,814	通信運搬（美専車） 委託（展示造作、デザイン等） 使用、賃借料
教 育 普 及 費	4,393	講演会・文学ゼミ・文学講座・出前講座・ 文学フェスタ 講師謝礼・旅費 舞台設営経費等
ふるさと文学館利用拡大事業	375	音声データ収録・配信 おしどり文学館事業
管 理 運 営 費	10,621	報償費（資料評価会議等）、展示保守点検 受付業務委託
計	33,786	

令和2年度 取組と達成目標・実績 -ふるさと文学館-

項 目	現 場	挑 戦	協 働	創意工夫	効率化
① 資料の収集・整理、調査・研究	○貴重資料、映像資料の収集、整理 ○所蔵資料のデジタル化 ○レファレンス対応	○映像・音声資料の公開準備 ○収蔵資料の取扱区分検討	○公共機関(市町等)が持つ有用資料の把握	○未展示資料や映像・音声資料の積極的な活用	○映像資料の有効活用 ○福井ゆかり作家資料の最新情報の把握
	●資料購入・受入 (3,384点) ●資料デジタル化 (345点) ●レファレンス対応 (10回)	●動画配信 (4点) ●著作権調査資料 3点(15点) ●資料取扱区分の設定	●資料調査 2回(2回)	●プロローグゾーンで未展示資料を展示 5点(10点) ●映像・音声資料のピックアップ紹介 3点(6点)	●映像資料リストの作成 ●全国文学館への資料情報提供依頼 1回(0回)
② 文学の魅力を発信	○常設展・企画展の実施(プロローグ、タイムリー、代表作家、企画展)	○絵画や書などを取入れた展示 ○県外の著名な作家や作品等の紹介 ○子ども向け教育・普及活動の強化	○吉村昭記念文学館との連携 ○全国文学館協議会との連携 ○図書館内カフェとの連携 ○県内文芸団体等との連携	○企画展誘致(全国巡回展等) ○新しい手法を取り入れた展示 ○来館者の利用促進	○他館展示パネルなどの活用 ○展示パネル等の有効活用
	●展覧会 13回(13回) (企画展2回(2回)、特集展示9回(9回)、常設展示2回(2回))	●福井ゆかりの作家の企画展の開催 「石川九横の世界」展 ●県外の作家作品展示 1回 (土屋文明記念文学館移動展) ●子ども向けツール作成 2件 (子ども向け動画「詩人則武さんってどんな人?」、企画展クイズラリー)	●おしどり文学館協定展示 1回 (協定記念展示「吉村昭と匠」) ●全国文学館協議会連携展示 1回 (共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」) ●図書館内カフェとのコラボ企画 2回 (文学フェスタコラボメニュー、九楊先生ゆかりのメニュー・サイン本販売) ●文学の小路での文芸作品展 2回(6回)	●他館巡回展調査 2回(2回) ●サブカルチャーなどの利用 「2.43 清隆高校男子バレー部」紹介コーナー ●音声ガイド(わかりやすい案内表示)の作成 8本(10本)	●他館保有展示パネルの調査 土屋文明記念館移動展 ●再利用を見越した展示パネル等の制作 石川九楊パネル
③ 文学活動や交流の支援	○著名作家、福井ゆかり作家等の講演会 ○作家を志す若者への支援 ○SNS等を活用した展示・イベント 情報発信	○PR先の開拓(若年向け) ○効果的なチラシ・ポスターの作成	○大学との連携企画 ○三館が連携しての企画の実施	○児童生徒の来館促進 ○デジタルサイネージの活用	○来館者志向、ニーズの把握 ○効率的な広報の実施
	●講演会等 16回(11回) ●文学ゼミ参加人数 のべ75人(60人) ●SNS投稿回数 48回(180回) ●ツイッターによる情報発信 74回(137回)	●新たなPR先の検討 (1回) ●ポスター等のデザインの見直し(1回)	●大学との連携展示 3回(0回) ●高校との連携展示 (1回) ●三館が統一テーマによる展示や各施設の設備等を活用したキャンペーンを実施 3回(ライブラリーステイ、県民衛星記念加古里子特集展示)	●児童生徒用案内パンフレット作成 ●文学ファイル子ども編作成 ●サイネージ映像の更新 4回(5回)	●利用者アンケート結果の分析、活用、実施に向けた検討 ●広報物の配布計画の作成 ●押印廃止に伴う規則等改正

※上段は取組項目、下段は目標 (実績) ゴシック体は令和2年度の新規項目

Ⅲ 行事实施状況

1 展示事業

(1) 企画展

会期	企画展名	観覧者数
5/11(月)～7/8(水) (前期) 7/10(金)～9/13(日) (後期)	コレクション展 没後 30 年則武三雄展	16,438 人
10/23(金)～12/6(日) (前期) 12/8(火)～R3. 1/24(日) (後期)	秋季企画展「石川九楊の世界一書という文学への旅」	15,323 人
2/13(土)～3/21(日)	全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」～東日本大震災から 10 年、福井地震から 73 年、災害をみつめる～	5,222 人

◆デジタル展示

開始日	企画展名
8/10(日)～	福井の山と文学

(2) プロローグゾーン展示

①特集展示

会期	展示名
12/20(金)～4/12(日)	ようこそふるさと文学館へ
R1. 3/27(金)～7/8(水)	スポーツ×文学×福井
7/10(金)～10/21(水)	加古里子と紙芝居
R3. 1/26(火)～3/24(水)	冬の味わい
R3. 1/26(火)～2/23(火・祝)	2.43 清陰高校男子バレー部紹介展示
2/26(金)～4/11(日)	福井県民衛星打ち上げ記念加古里子特集展示「宇宙とどうぐ」

②タイムリースポット

会期	展示名
2/21(金)～4/12(日)	天災を綴る一福井ゆかりの作家と天災一
5/11(月)～7/8(水) (前期) 7/10(金)～10/21(水) (後期)	福井ゆかりの作家文学忌紹介
1/26(火)～4/11(日)	ようこそふるさと文学館へ

(3) 代表作家ゾーン展示

会期	展示名	備考
8/8(土)～9/22(火・祝)	三好達治生誕 120 年特集コーナー	絶筆詩稿「春の落葉」初公開
8/8(土)～9/22(火・祝)	高見順関連展示	R1 で荒磯忌終了

(4) ギャラリー文学の小路展示

会期	展示名	備考
3/6(金)～4/12(日)	出前文芸創作教室作品展	
3/6(金)～4/12(日)	ふくい風花随筆文学賞作品展	協力:ふくい風花随筆文学賞実行委員会
5/11(月)～7/8(水)	万葉の里短歌「あなたを想う恋のうた」入賞作品展	協力:万葉の里恋のうた募集実行委員会
5/11(月)～7/8(水)	福井県現代俳句協会令和元年自選代表句展	協力:福井県現代俳句協会

7/10(金)～8/16(日)	「越前市紙芝居コンテスト」歴代入賞作品展	協力:越前市教育委員会
8/17(月)～10/21(水)	ふくい五行歌の会 200 回記念作品展	協力:ふくい五行歌の会
8/30(日)～10/21(水)	三国ゆかりの作家たち	主催:当館 協力:みくに龍翔館
10/27(火)～11/3 (火・祝)	福井県小中学生写生画コンクール入賞作品展	協力:中日新聞社・日刊県民福井
10/3(土)～12/23(水)	おしどり文学館協定記念展示「吉村昭と医」	共催:吉村昭記念文学館
11/5(木)～12/6(日)	古代文字・森羅万象	協力:生涯学習・文化財課
11/25(水)～12/8(火)	「家族ふれあい」絵手紙コンクール入賞作品展	協力:福井市教育委員会
12/9(水)～R3. 1/22(金)	県高等学校書道展「特選」作品展示	協力:福井県高等学校文化連盟書道部会
1/29(金)～3/24(水)	移動展「文学者の書一筆に込められた思い」	主催:当館 協力:群馬県立土屋文明記念文学館
3/16(火)～5/30(日)	アール・ブリュット展ふくい	協力:福井県知的障害児者生活サポート協会

(5) その他

①音声ガイド

福井ゆかりの作家について著名人が語る音声ガイドを制作し、館内利用（無料）

対象作家	収録作家	備考
高見順	荒川洋治氏	H30 年度
三好達治	池澤夏樹氏	H30 年度
山川登美子	津村節子氏	R1 年度
橘曙覧	俵万智氏	R1 年度

展示資料解説の特別コンテンツを制作し音声ガイドで利用

企画展	解説資料数	期間
秋季企画展「石川九楊の世界―書という文学への旅―」	7 点	10/23～1/24
全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」	3 点	2/13～3/21

②動画配信

タイトル	内容
則武三雄ってどんな人？～福井に文学の種をまいた詩人～	コレクション展「没後 30 年則武三雄展」子ども向けにちまちま人形が紹介
則武三雄を語る	川上明日夫、藤井則行、今村秀子が則武三雄について語る
愛する福井の山々	増永迪男の山に関するインタビュー
福井の山と文学	深田久弥、桑原武夫、増永迪男などの福井の山の文学を紹介

③文学館購入雑誌等の閲覧

プロログゾーン内くつろぎコーナーにおいて閲覧可能

「季刊文科」「近世文藝」「日本近代文学」「日本文学」「三田文学」「早稲田文学」「公募ガイド」ほか
全国の文学館発行の出版物等

2 教育普及事業

(1) 一般向けイベント

①作家講演会

日時	演題	講師	会場	参加者数
10/24(土) 14:00～15:30	「書という文学への旅」	石川九楊氏	多目的ホール	81人
R3. 3/7(日) 14:00～15:30	第24回風花随筆文学賞授賞式記念講演「書物の身の上」→【新型コロナウイルス感染防止のため延期】	出久根達郎氏	多目的ホール	—

②文学講座

日時	演題	講師	会場	参加者数
7/25(土) 14:00～15:40	「かこさとし～フリーハンドで描くふるさとの風景～」	谷出千代子氏	多目的ホール	46人
8/30(日) 13:30～14:50	「高見順と三国—35回荒磯忌を終えて」	上出純宏氏	多目的ホール	43人
9/5(土)←5/16(土)を延期 14:00～15:40	「則武三雄の詩と世界」→【新型コロナウイルス感染防止のため中止】	荒川洋治氏	多目的ホール	—
12/9(水)←8/19(水)を延期 14:00～16:00	「郷土作家の書を読む、文学を読む」	石川九楊氏	多目的ホール	67人
R3. 2/7(日)←R2. 3/8(日)を延期 14:00～15:30	「福井をめぐる作家と文学」→【新型コロナウイルス感染防止のためリモート講義】	大本泉氏	研修室	25人
2/20(土) 14:00～15:30	「理系小説の面白さ～実験室で生まれる物語～」	松尾佑一氏	多目的ホール	44人
2/28(日) 14:00～15:30	デジタル展示「福井の山と文学」関連講座 「福井県の野鳥（山野編）」	松村俊幸氏	多目的ホール	43人
3/14(日) 14:00～15:30	「ムットーニ 創作の秘密」→【新型コロナウイルス感染防止のため中止】	武藤政彦氏	多目的ホール	—

③文章講座

日時	演題	講師	会場	参加者数
9/12(土) 14:00～15:30	第1回文章講座 「ひとに読まれる、エッセイ〈構成〉術」 (共催：風花随筆文学賞実行委員会)→ 【新型コロナウイルス感染防止のためリモート講義】	森重良太氏	多目的ホール	38人
9/19(土) 14:00～15:30	第2回文章講座 「エッセイという表現」 (共催：風花随筆文学賞実行委員会)	張籠二三枝氏	多目的ホール	34人

④創作講座

日時	演題	講師	会場	参加者数
10/11(日) 14:00～16:00	五行歌「誰の心にも名作はある」	安川美絵子氏	多目的ホール	26人

⑤映画上映会

日時	作品名	会場	参加者数
R3. 1/31(日) 13:30～15:20	「冬の味わい」 関連文学キネマ 「かもめ食堂」	多目的ホール	47 人
3/13(土) 13:30～15:30	県民衛星打ち上げ記念加古里子特集展示「宇宙と どうぐ」 関連文学キネマ 「おかえり、はやぶさ」	研修室	21 人

⑥クイズラリー

期間	名称	参加者数
5/11(月)～9/13(日)	コレクション展クイズラリー	570 人
10/23(金)～1/24(日)	秋季企画展クイズラリー	794 人

⑦その他

日時	行事名	会場	参加者数
8/2(日)、8/8(土) 11:30～12:00	図書館探検隊	展示室 映像コーナー	7 人 9 人
10/3(土)13:30～ 10/4(日)11:30	福井県立図書館開館 70 周年記念企画「ライ ブラリーステイ図書館に泊まって災害を 学ぶ」(3 館連携) 講義「災害を題材にした文学作品紹介」	多目的ホール	25 人

(2) 中高生向けイベント

① オーサートーク→【リモート講演】

日時	講師	会場	参加者数
12/17(木)14:45～15:30	壁井ユカコ氏	若狭高校	258 人
12/18(金) 11:50～12:50	壁井ユカコ氏	仁愛女子高校	1,096 人

② ジュニア文学講座

日時	タイトル	講師	会場	参加者数
5/30(土) 13:00～14:30	ジュニア文学講座(共催:県高等学校文化連盟 文芸部会)→【新型コロナウイルス感染防止のた め中止】	中内亮玄氏	多目的ホー ル	—

③ 出前文芸創作教室

〈俳句〉

日時	講師	会場	参加者数
9/12(土)11:10～12:00	中内亮玄氏	和泉中学校	20 人
9/16(火)9:30～10:25	中内亮玄氏	上志比中学校	35 人

〈書〉

日時	講師	会場	参加者数
9/18(金)9:50～11:40	石川九楊氏→【新型コロナウイ ルス感染防止のため中止】	武生第三中学校	—

(3) ふくい文学ゼミ

講師：上田恭弘氏（新潮社）

受講者数：13名

日時	カリキュラム	会場
7/5(日) 10:30～14:30	講座①…小説とは何か／上達の秘訣／とりあえずのヒント 講座②…作家という職業について	研修室
9/6(日) 10:30～14:30	講座③…表記について／キャラクターの重要性 講座④…合評→【新型コロナウイルス感染防止のためリモート講義】	研修室
10/31(土) 10:30～14:30	講座⑤…ストーリーの要点／視点について 講座⑥…合評	多目的ホール 研修室
R3. 1/17(日) 10:30～14:30	講座⑦…文章力を付ける／取材の重み 講座⑧…合評→【新型コロナウイルス感染防止のためリモート講義】	研修室
R3. 2/20(土) 14:00～16:15	特別講義 松尾佑一氏講座の聴講 松尾佑一氏との懇談会	多目的ホール 研修室
R3. 2/21(日) 10:30～14:30	講座⑨…長編執筆の作法／新人賞について／著作権を知る 講座⑩…合評→【新型コロナウイルス感染防止のためリモート講義】	研修室

(4) 文学フェスタ

日時	イベント名	会場	参加者数
11/1(日) 10:00～16:00	文学同人誌ブース	エントランスホール	10 団体 25 人
11/1(日) 10:30～12:00	文学講座「教室を飛び出して国語の教科書を読んでみる」 三好修一郎氏	多目的ホール	37 人
11/1(日) 14:00～16:40	文学キネマ「小さいうち」上映会 原作者中島京子氏よりビデオメッセージ	多目的ホール	56 人
11/1(日) 9:00～18:00	ふるさと文学難問クイズ	文学館カウンター	39 人
11/1(日) 10:00～16:00	福井の文学出版物展示コーナー	エントランスホール	—
11/1(日) 10:00～17:00	文学キネマにちなんだランチとテイクアウトメニュー (協力：足羽福祉会)	カフェあすわの木	20 食 30 個

3 他館との連携

(1) おしどり文学館

〈展示〉

会期	展示名	会場
10/3(土)～12/23(水)	おしどり文学館協定記念 福井県・荒川区合同特集展示 「吉村昭と医」	文学の小路 〈再掲〉

〈交流〉(リモート会議)

日時	参加者	備考
R3. 3/17(水) 10:30～11:30	荒川区：小堀ゆいの森担当課長、橋爪吉村昭記念文学館係長、深見学芸員 福井県：堂阪館長、小林主任、野坂主任、岩田主任	Teams にて、近況報告、次年度の連携について協議

(2) 連携展示

日時	展示名	連携先
R3. 1/29(金) ～3/24(水)	移動展「文学者の書一筆に込められた思いー」	群馬県立土屋文明記念文学館 〈再掲〉
2/13(土)～ 3/21(日)	全国文学館協議会共同展示「3. 11 文学館からの メッセージ」～東日本大震災から 10 年、福井 地震から 73 年、災害をみつめる～	全国文学館協議会、日本近代文 学館 〈再掲〉

IV 統計

1 貴重資料等の整備概況

(1) 作家別貴重資料収集状況

(単位：点,冊)

	自筆資料、愛用品等			その他 (写真, 本人蔵書等)			関係者の直筆資料 (挿絵, 家族・師弟関係など)			総計		
	～R元	R2	累計	～R元	R2	累計	～R元	R2	累計	～R元	R2	累計
ふるさとゆかりの作家30人	2,531	1,832	4,363	10,224	1,544	11,768	361	0	361	13,116	3,376	16,492
その他	455	7	462	9	1	10	1	0	1	465	8	473
総計	2,986	1,839	4,825	10,233	1,545	11,778	362	0	362	13,581	3,384	16,965

※各複製含む

(2) 令和2年度受入資料内訳

(単位：点,冊)

	購 入	寄 贈		製作その他	計
		資 料	蔵 書		
ふるさとゆかりの作家30人	17	2,152	* 1,183	24	3,376
その他	0	7	0	1	8
計	17	2,159	1,183	25	3,384

* 山本和夫蔵書、および石川九楊氏装丁本

(3) 主な新収蔵資料

①購入

(単位：点)

作家名	点 数	主な資料
中野重治	1	中野重治発松井勲遺稿集刊行会宛〔書簡〕
多田裕計	1	多田裕計発楠本憲吉宛〔書簡〕
山崎朋子	12	「サンダカン八番娼館」〔原稿〕等自筆資料
石川九楊	2	「罪と罰」(ラスコリニコフ)〔書〕
三好達治	1	「詩人・三好達治像」〔絵画〕

②寄贈

(単位：点,冊)

作家名	点 数	主な資料
石川九楊	59	石川九楊氏<装丁本>
三好達治	22	「三国高等学校校歌」〔草稿〕、愛用釣竿〔愛用品〕
則武三雄	16	「草枯」〔書〕、小林秀雄発則武三雄宛〔書簡〕
岡崎純	1	「マッチ箱詩編」〔印刷物〕
雨田光平	2	「みはるかす」〔書幅〕
小野忠弘	1	「北の海(能登にて)」〔絵画〕
宇野重吉	1	「白鳥は悲しからずや」〔書〕

(4) 映像資料等の整備状況

(単位：点)

	点 数	累 計	主な作品名
外部作成	0	35	
自館作成	5	83	「詩人則武三雄ってどんな人？」 「福井の山と文学」
計	5	118	

2 利用状況

(1) 企画展観覧者数

会 期		企画展名	観覧者数
5/11(月)～7/8(水)(前期) 7/10(金)～9/13(日)(後期)	117日	コレクション展 没後30年則武三雄展	16,438人
10/23(金)～12/6(日)(前期) 12/8(火)～R3.1/24(日)(後期)	70日	秋季企画展「石川九楊の世界一書という文学への旅―」	15,323人
2/13(土)～3/21(日)	30日	全国文学館協議会共同展示「3.11文学館からのメッセージ」～東日本大震災から10年、福井地震から73年、災害をみつめる～	5,222人

(2) 利用者数

(単位：日、人)

年度	利用者数	累 計	開館日数
H26	21,642	21,642	48
H27	81,779	103,421	299
H28	61,583	165,004	298
H29	69,379	234,383	299
H30	61,910	296,293	288
R1	70,304	366,597	301
R2	46,883	413,480	265

(3) 職場体験・研修・見学の受入

(単位：人)

団体数	人 数
14	868

V 資料編

1 文学館概要

(1) 延床面積 1, 0 2 0 m² (県立図書館の郷土・環日本海コーナーを再編、改修)

(2) 建物の特長

- ・図書館空間と融合する開放的なエントランス
- ・展示室周囲、プロローグゾーン棚突板、展示ケースに県産スギ材を使用
- ・代表作家ゾーン、企画展ゾーンは防火区画とし、外光を遮断。可動間仕切りや、パネル交換が可能なシステム壁面を採用し、展示内容に合わせレイアウトの変更が可能

(3) 基本理念

- ・ゆかりの作家や福井県を扱った作品に関する資料を収集、紹介し、福井の文学を後世へ伝えていく。
- ・福井ゆかりの文学の魅力を発信し、福井県の魅力の再発見、理解を促進する。
- ・県民が文学に親しみ、学び、交流できる機会を提供し、文学を通じた新たな文化活動を促進する。

(4) 活動の特長

- ・図書館、文書館、文学館の3館併設のメリットを活かした機能、活動
- ・文学に関する文字以外の映像・音声資料も合わせ、作家の実像や作品の背景等を紹介
- ・文学を志す若い世代の創作活動支援

(5) 各ゾーン

①プロローグゾーン (1 6 8 m²)

福井ゆかりの作家 (約 30 人)、福井を描いた文学作品 (約 400 作品)、福井県文学マップ (約 120 ヶ所) など、福井の文学の概略を紹介 (展示資料約 120 点)

②代表作家ゾーン (1 5 3 m²)

中野重治、高見順、水上勉、三好達治、津村節子を紹介 (展示資料約 70 点)

③企画展ゾーン (1 4 7 m²)

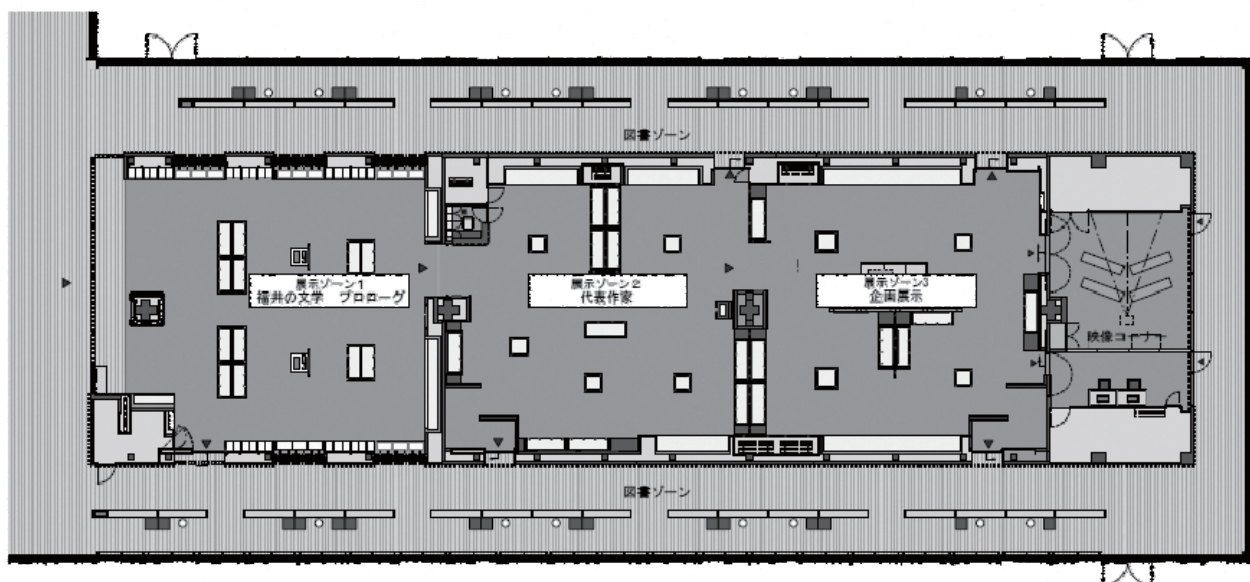
福井ゆかりの作家をはじめ様々なテーマの企画展

④映像コーナー (4 7 m²)

「福井を愛した文人たち」(12 分) の放映、個人ブースでの映像・音声試聴 (47 点)

⑤図書ゾーン (4 3 0 m²)

展示ゾーン周囲に書架を配置、貸出用図書、県内文学同人誌など約 7, 0 0 0 冊を排架



2 沿 革

年 度	事 項
平成 14 年度	福井県立図書館が新築移転し、「郷土文学コーナー」を新設（2 月 1 日）
18 年度	「ふるさと文学コーナー」として拡充
22 年度	福井県教育・文化創造会議において文学館の整備が提言 福井県民の将来ビジョンで整備の必要性が謳われる
23 年度	福井新々元気宣言に、ふるさと文学館の整備が明記
24 年度	「福井ふるさと文学館（仮称）基本計画」策定（3 月）
25 年度	基本設計、実施設計、建築改修工事着手
26 年度	展示工事着手 福井県ふるさと文学館開館（2 月 1 日） 津村節子氏特別館長就任 開館記念特別展「津村節子と吉村昭 はてなき旅～夫婦作家の軌跡～」開催（2 月 1 日～4 月 5 日） 開館記念対談（津村節子氏、藤田宜永）開催
27 年度	日本文藝家協会との共催シンポジウムを開催（6 月） 文学ゼミ開始
29 年度	全国文学館協議会展示情報部会を開催（10 月 27 日～28 日） 東京都荒川区立ゆいの森あらかわ吉村昭記念文学館と「おしどり文学館協定」を締結（11 月 5 日） 図書館・文書館開館 15 周年、ふるさと文学館開館 3 周年記念事業を開催（1～2 月） 加賀美幸子氏による朗読CD「聞いて楽しむふるさと文学」を発行（2 月） 豪雪により、閉館時刻を繰り上げ（2 月 7～9 日 17 時閉館）臨時休館（2 月 12 日）
30 年度	プロログゾーン内にくつろぎコーナーを新設（7 月） 台風のため、9 月 4 日を臨時休館、9 月 30 日を 14 時閉館 第 73 回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）で来県された寛仁親王妃殿下が、展示室観覧（10 月 6 日） システム更新のため、3 月 18 日～31 日を臨時休館
令和元年度	ふくい風花随筆文学賞の特別審査委員長に出久根達郎氏が就任。津村節子氏は顧問となる 台風のため、10 月 12 日を 12 時閉館 開館 5 周年記念事業実施 冬季企画展「文学の食卓展」（1 月～3 月）、「高校生文学演劇祭」（2 月）
2 年度	新型コロナウイルス感染症対策のため、3 月 28 日～29 日を臨時休館（3 月） 新型コロナウイルス感染症対策のため、4 月 4 日～5 月 10 日を臨時休館 動画「詩人則武三雄ってどんな人？」、デジタル展示「福井の山と文学」を制作し非来館型のサービスを充実させた。（8 月、2 月） 大雪のため、令和 3 年 1 月 10 日～11 日を臨時休館

3 風花随筆文学賞

運 営：風花随筆文学賞実行委員会

事務局：ふるさと文学館

平成31年4月より出久根達郎氏が特別審査委員長に、津村節子氏が顧問に就任した。

令和2年度より「ふくい」を外し「風花随筆文学賞」とした。

(1) 事業内容

①風花随筆文学賞（第24回）

応募受付期間：一般の部 令和2年7月1日（水）～10月31日（土）

高校生の部 令和2年7月1日（水）～12月15日（火）

授賞式・記念講演：令和3年3月7日（日）

→【新型コロナウイルス感染防止のため記念講演－延期】

対象	応募作品数	一次審査選考数	入賞作品数
一般の部	1,826 編	32 編	6 編
高校生の部	3,082 編	30 編	6 編 (ほか佳作4編、奨励賞20編)
合計	4,908 編	61 編	12 編

②ふるさと風花文庫の貸出

期間	学校名等
4/1～7/31	福井製菓専門学校
6/17～R3.3/31	吉村昭記念文学館
6/26～12/26	仁愛女子短期大学
7/11～12/26	敦賀市立図書館
8/1～9/30	福井市立図書館
10/2～R3.3/20	勝山高校
R3.1/28～6/1	気比中学校
R3.1/8～7/9	福井工業高等専門学校

③文章講座（共催：ふるさと文学館）

	日時	講師	会場	参加者数
第1回 【リモート】	9/12(土) 14:00～15:30	森重良太氏	多目的ホール	38人
第2回	9/19(土) 14:00～15:30	張籠二三枝氏	多目的ホール	34人

<再掲>

④刊行物

タイトル	発行日	発行部数	備考
第23回ふくい風花随筆文学賞入賞作品集	令和2年6月	3,300部	B5判

(2) 実行委員会

①理事会

	日時	会場
第1回	5/21(木)	書面による決裁
第2回	2/16(火) 15:00～16:00	県庁教育委員会室

②企画・審査委員会

	日時	会場
第1回	6/3(水)	書面による決裁
第2回	2/4(木) 9:30～11:30	県立図書館大会議室

(3) 令和2年度理事

	氏 名	役 職 名
会長	豊北 欽一	福井県教育長
理事	谷出 千代子	かこさとしふるさと絵本館長
理事	安達 洋一郎	福井新聞社読者事業局長
理事	増永 迪男	企画・審査委員長
理事	山口 昭男	中央経済社常勤監査役
監事	中川 幸一	げんでんふれあい福井財団事務局長
監事	坂井 裕之	福井新聞社読者事業局次長

福井県立図書館・福井県ふるさと文学館年報
令和３年度（令和２年度事業実績）

発行日 令和３年７月

編集・発行 福井県立図書館・福井県ふるさと文学館

〒918-8113 福井市下馬町 51-11

TEL 図書館（0776）33-8860

ふるさと文学館（0776）33-8866

<https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp>

印刷 奥本タイプ印刷所